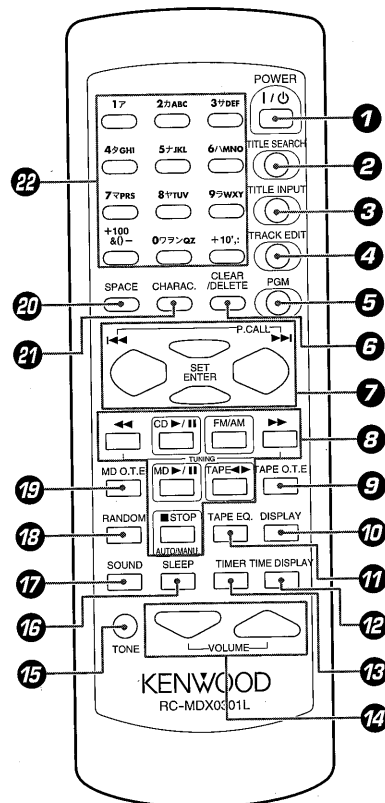
リモコン

本体部と同じ名称のキーは本体部と同じ働きをします。

1. POWER I/⏻（電源）
2. TITLE SEARCH(40)
3. TITLE INPUT(52)
4. TRACK EDIT(57)
5. PGM(38)
6. CLEAR/DELETE(38､52)
7. |◀◀ P. CALL ▶▶|(スキップ)
   SET(52)
   ENTER(52)
8. ◀◀/TUNING DOWN
   ▶▶/TUNING UP
   CD▶/II(再生/一時停止)(18)
   FM/AM(17)
   MD▶/II(再生/一時停止)(20)
   TAPE ◀▶(再生)(22)
   ■STOP(停止)､AUTO/MANU.(25)
9. TAPE O.T.E.(31)
10. DISPLAY(33)
11. TAPE EQ.(23)
12. TIME DISPLAY(33)
13. TIMER(65)
14. VOLUME(18)
15. TONE(36)
16. SLEEP(72)
17. SOUND(36)
18. RANDOM(39)
19. MD O.T.E.(27)
20. SPACE(52)
21. CHARAC.(52)
22. 数字キー(17)／文字入力キー(52)

カッコ内の数字は参照ページです。

KENWOOD

株式会社ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。

カスタマーサポートセンター東京　電話(03)3477-5335　〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
カスタマーサポートセンター大阪　電話(06)6394-8085　〒532-0034 大阪市淀川区野中北 2-1-22

アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、添付の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにご相談ください。

KENWOOD

RAMPAGE

ミニディスク パーソナル ステレオシステム

取扱説明書

MDX-F55

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、取扱説明書は大切に保管して、必要になった時に繰り返してお読みください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

MDLP

株式会社ケンウッド
KENWOOD CORPORATION
B60-4936-00 01 (CH) (J) KW 0009

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品

このシンボルマークのある製品はケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

デモンストレーションモードについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部が順に変化していきますが、音は変化しません。

なお、本機の電源が入っている間に停電があったり、電源プラグを抜き差ししたりしたときは、自動的にデモンストレーションモード（DEMO ON）になります。

デモンストレーションモードを解除する：DEMO ON中にSET（DEMO）キーを押す。

デモンストレーションモードに設定する：電源が入っていて、CD、MD、テープが停止中に、2秒以上SET（DEMO）キーを押す。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

準備編

基本編

応用編

知識編

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

⚠ **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

⚠ 警告

交流100ボルト以外の電圧で使用しない

この機器は、交流100ボルト専用です。
指定以外の電源電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

放熱に注意

設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔ですので、ふさがないようにご注意ください。
- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 風通しの悪い狭い所に押し込まない。

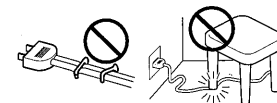
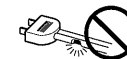
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上において使用しない。

通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

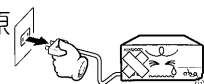
風呂、シャワー室では使用しない

風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードの取扱い

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定しないでください。また、電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら（芯線の露出、断線など）修理をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は

煙が出たり、変な臭いや音がする場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

⚠ 警告

電源プラグは清潔に

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

きれいにしましょう

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ぶた、カバーを開けたり、改造をしないでください。
内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かないでください。
こぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

落下した機器は使わない

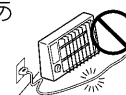
機器を落としたり、カバーやケースがこわれた場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら

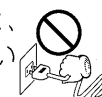
アンテナ線や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

電池は放置しない

電池は、幼児の手の届かないところへ置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意下さい。
電池をあやまって飲み込むおそれがあります。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

乾電池は充電しないでください。
電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となります。

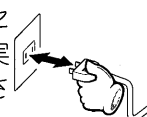
⚠ 注意

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

電源プラグの抜き差しは

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

⚠注意

長期間使用しないときは

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また乾電池も外してください。火災の原因となることがあります。乾電池の場合には、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。
指定以外のコードを使用したりコードを延長すると発熱し、やけどの原因となることがあります。

指定機器以外の物を乗せない

この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

アンテナ工事

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

機器に乗らない

この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

指をはさまない

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に手を入れないようご注意ください。
指がはさまれて、けがの原因となることがあります。

レーザー光源はのぞかない

レーザー光源をのぞき込まないでください。
レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

⚠注意

音量に気をつけて

はじめに音量（ボリューム）を最小にしてください。
突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

移動させる際は

移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービスセンター、サービスステーション、サービススポットに費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。
次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示（プラス"+"とマイナス"-"の向き）に注意し、表示通りに入れてください。

よく確かめて

- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。
- 液が漏れた場合は、乾電池ケースについた液をよく拭き取ってから、新しい乾電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

接続する

付属品を確かめる

以下の付属品がそろっていることを確認してください。

電源コード（1個）

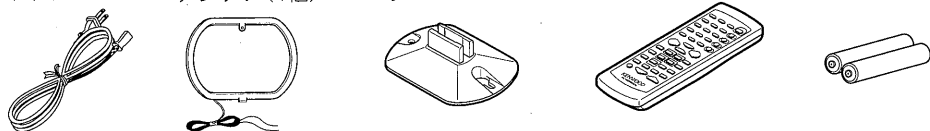
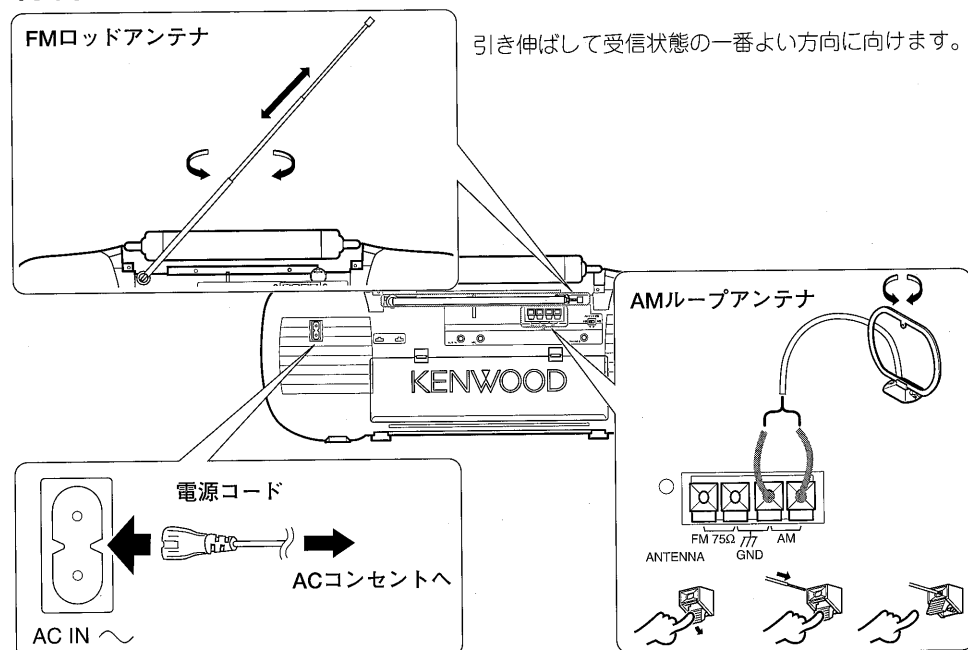
AM ループアンテナ（1個）

AMループアンテナスタンド（1個）

リモコン（1個）

リモコン用単3乾電池（2本）

付属品を接続する

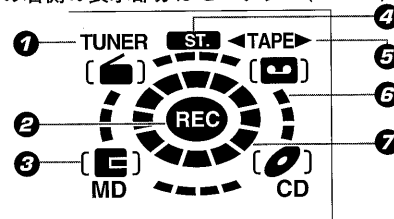
引き伸ばして受信状態の一番よい方向に向けます。

付属の電源コードをAC100V、50/60Hzの電源コンセントへつなぎます。

- 電源コードを抜くときは、壁側のプラグから先に抜いてください。

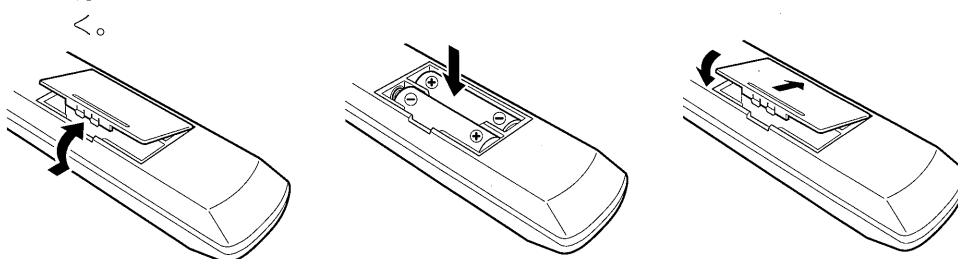
付属のアンテナは室内用です。本機やTV、電源コードなどからなるべく離れたところで、受信状態の一番良い方向に向けます。

POINT

- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなることや、雑音が発生することがあります。
- 接続コードを抜き差しするときは、必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。
- テレビの近くに置かないでください。スピーカーの磁気により、テレビに色ムラが発生することがあります。
- 電源コードを抜き差しするときは、必ずスタンバイ状態にしてください。

リモコンに乾電池を入れる

(1) リモコン裏面の乾電池ぶたを開く。

(2) 単3乾電池2個を極性マークに合わせて入れる。

(3) 乾電池ぶたを閉める。

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。あらかじめご了承ください。
- リモコンで操作できる距離が短くなったら、2個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。誤動作を避けるために設置場所を変えてください。
- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、1秒以上の間隔をあけて押してください。
- リモコンの操作範囲の目安は、本体のリモコン受光部から約6m以内（左右角度30°以内）です。本体のリモコン受光部の正面に向けて操作してください。

表示部の状態表示について

表示部の右側の表示部分はセレクター（ソース）の選択や動作の状態を表示しています。

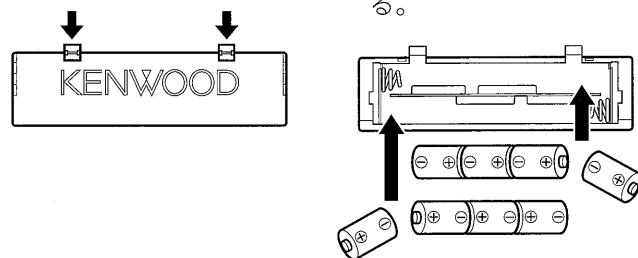
❶ CD、MD、TAPE（テープ）、TUNER（チューナー）の各表示（常時点灯）
❷ 録音中を示す表示
❸ 現在選ばれているセレクターの表示
❹ ステレオ放送受信時に点灯
❺ TAPE（テープ）の走行方向の表示（片方常時点灯）
❻ 録音の方向を流れで表示（例：CD→MD）
録音一時停止のときは点滅します。
❼ ボリューム表示およびPLAY（プレイ）（再生）状態とPAUSE（ポーズ）（再生一時停止）状態の表示
PLAY（プレイ）のときは2ポイントが回転、PAUSE（ポーズ）のときは2ポイントが点滅します。

次ページに続く➡

本体に乾電池（別売）を入れる

（1） 本体背面の乾電池ぶたをはずす。

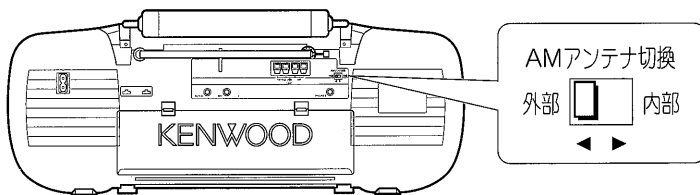
（2） 単2アルカリ乾電池8個を極性マークに合わせて入れる。

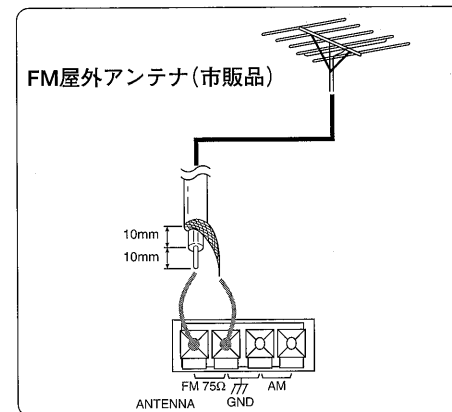
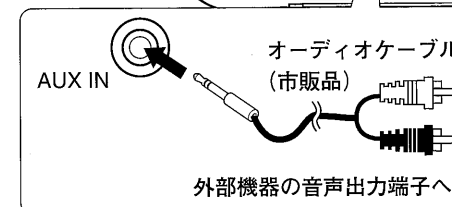
（3） 乾電池ぶたを閉める。

乾電池で本機を使用するときは、必ず本体背面のAC IN～コネクター側から電源コードのプラグを抜いてください。

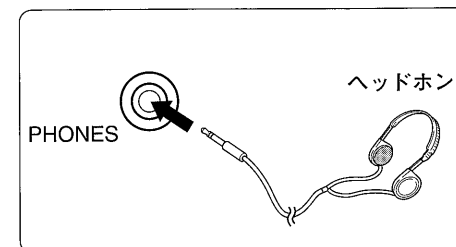
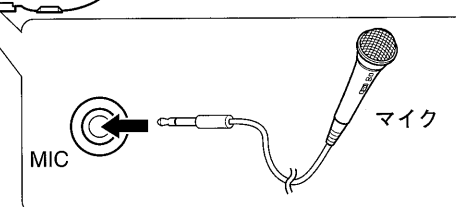
- 乾電池が消耗すると、**LOW BATTERY**が表示され、しばらくすると電源が切れます。8本とも新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池で本機を使用しているときは、リモコンの**POWER** I/⏻ キーを押しても電源を入れることができません。また、**STANDBY/TIMER**インジケーターは点灯しません。
- 長期間乾電池で本機を使用しないときや、常時電源コードで使用するときは、乾電池が液漏れすることがありますので、取り出しておいてください。

AMアンテナを切り換える

本機でAM放送を受信するときは、背面のAMアンテナ切換スイッチを切り換えて、外部アンテナ（AMループアンテナ）または内部アンテナ（バーアンテナ）のどちらかを使用します。

外部：通常はこの位置に設定しておきます。
内部：AMループアンテナを使用しないときに設定します。屋外で本機を使用するときに便利です。

- AMラジオ放送をMDに録音するときは、AMアンテナ切換を**外部**に設定してください。

他の機器を接続する

市販の75Ω同軸ケーブルを使用して屋内へ引き込み、**FM ANTENNA**端子に接続します。

- 屋外アンテナの設置は危険を伴いますので、販売店または専門の技術者にご依頼ください。

別売のステレオミニプラグ付きのヘッドホンをつなぎます。

- スピーカーで聴くときは、ヘッドホンを**PHONES**端子から外してください。

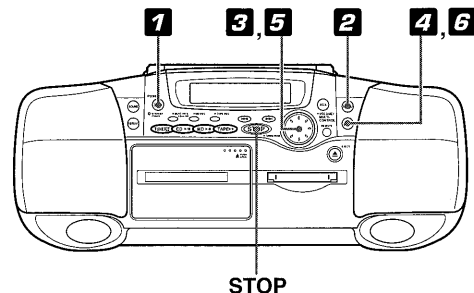
別売のMDプレーヤー、カセットデッキ、イコライザー内蔵のレコードプレーヤー（P-110）などをステレオミニプラグ付きのオーディオケーブルを使って接続します。

- **AUX IN**端子は入力端子です。外部機器への録音はできません。
- 外部の機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- レコードプレーヤーを接続して、本機のすぐ横に置いた場合、音量を大きくしたときなどに「ワーン」というハウリング現象が起きる場合があります。この場合は、本機とレコードプレーヤーの間隔を離してお使いください。
- 外部入力レベルを調整することができます（37ページ）。

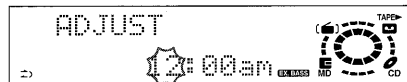
別売のミニプラグ付きのマイクを**MIC**端子につなぐと、マイクを使用することができます（51ページ）。

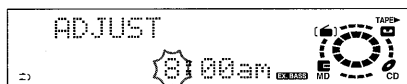
- マイクを使用しないときは、**MIC**端子から抜いてください。
- マイク音声の入力レベルを調整することができます（37ページ）。
- マイクをつなぐと、MD、CD、ラジオ、テープ、および外部入力の音量が小さくなります。
- マイクを接続し、本機のすぐ近くで使った場合、音量を大きくしたときなどに「ワーン」というハウリング現象が起きる場合があります。この場合は、本機とマイクの間隔を離してお使いください。
- プラグインパワー方式のマイクは使用できません。

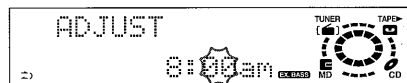
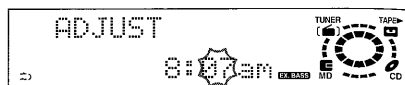
時計を合わせる

タイマー機能を利用できるように、本機の時計を合わせてください。時間は12時間表示で表示されます。

本体のみ

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 MENUキーを3秒以上押す

3 VOLUME/ MULTI-CONTROL つまみを回して、時を合わせる

8時7分に合わせる例

昼の12時は**12:00pm**、夜の12時は**12:00am**と表示されます。

4 SET(DEMO)キーを押す

5 VOLUME/ MULTI-CONTROL つまみを回して、分を合わせる

6 SET(DEMO)キーを押す

時刻を確認するには

スタンバイ状態中にSTOPキー（リモコンの■STOPキー）を押します。

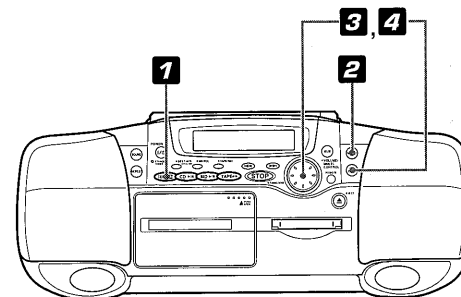
POINT

- 75分以上停電があったときや、電源プラグをコンセントから抜いたり、乾電池を外して75分以上過ぎたときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 時報と同時にSET(DEMO)キーを押すと、正確な時刻合わせができます。

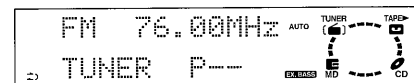
放送局を記憶させる

オートプリセット、マニュアルプリセット合わせて最大40局まで記憶させることができます。

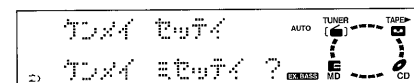
放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）

お住まいの都道府県名を選択して、近くで受信できる放送局を自動的にプリセット（記憶）することができます。プリセットされたFM放送を受信するときは、放送局名が表示されます。

本体のみ

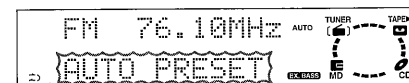
1 TUNER FM/AMキーを押す

FM 76.00MHz
TUNER P--

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/ MULTI-CONTROL つまみを回してケンメイセッテイ ？を選び、SET(DEMO)キーを押す

ｹﾝﾒｲ ｾｯﾃｲ
ｹﾝﾒｲ ｾｯﾃｲ ?

4 VOLUME/ MULTI-CONTROL つまみを回して、お住まいの都道府県名を選び、SET(DEMO)キーを押す

都道府県名は五十音順に並んでいます。オートプリセットが始まり、表示部に**AUTO PRESET**が点滅します。先にFM放送局をメモリーし、次にAM放送局をメモリーします。

FM 76.10MHz
AUTO PRESET

オートプリセットが終了すると、最初にプリセットされた放送局名が表示されます。

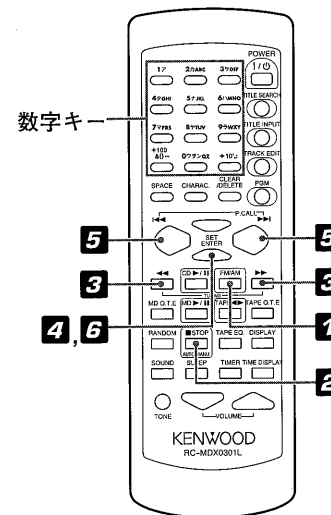
放送局名の表示を変えるには

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。
希望する放送局名が表示されないときは、SET(DEMO)キーを押して放送局名を変えます。

POINT

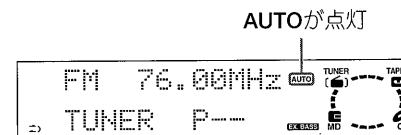
- 表示される放送局名は***エリア別FM放送局名自動表示リスト***（16ページ）に記載されている局のみです。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。
- お住まいの地域によっては、選局された放送局を良好に受信できない場合があります。

オートプリセットで放送局が記憶されないときは、マニュアルプリセットで記憶させてください（17ページ）。

次ページに続く➡

エリア別FM放送局名自動表示リスト（2000年8月現在）

地方	放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'
	エフエム・ノースウェーブ	north wave
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ
	エフエム岩手	FMイワテ
	エフエム仙台	Date fm
	エフエム秋田	Co-much FM
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ
	エフエム福島	フクシマFM
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM
	エフエムジャパン	J-WAVE
	エフエムインターウェーブ	InterFM
	放送大学	ホウソウダイガク
	エフエム群馬	FMグンマ
	エフエム栃木	RADIO BERRY
	エフエム埼玉	NACK5
	エフエムサウンド千葉	bayfm
	横浜エフエム放送	Fm yokohama
	エフエム富士	FM-FUJI
中部地方	エフエムラジオ新潟	FMニイガタ
	長野エフエム放送	FMナガノ
	北日本放送	KNBラジオ
	富山エフエム放送	FMトヤマ
	エフエム石川	FM ISHIKAWA
	福井エフエム放送	FMフクイ
中部地方	静岡エフエム放送	K・MIX
	エフエム愛知	FM AICHI
	エフエム名古屋	ZIP-FM
	愛知国際放送	RADIO-i
近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム京都	アルファStation
	エフエム滋賀	E-Radio
	エフエム大阪	fm osaka
	エフエムはちまるに	FM802
	関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	兵庫エフエムラジオ放送	Kiss-FM
中国・四国地方	岡山エフエム放送	FMオカヤマ
	エフエム山陰	V-air
	広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエム山口	FMヤマグチ
	エフエム徳島	PassionWave
	エフエム香川	FMカガワ
	エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム高知	FM KOCHI
九州・沖縄地方	エフエム福岡	FM FUKUOKA
	エフエム九州	CROSS FM
	エフエム佐賀	FMサガ
	エフエム長崎	SMILE-FM
	エフエム中九州	FMK
	エフエム大分	FM OITA
	エフエム宮崎	JOY-FM
	エフエム鹿児島	ミューFM
	エフエム沖縄	FM Okinawa
	NHK第一放送	NHKラジオ 1
	FEN沖縄	FEN オキナワ
	九州国際エフエム	Love FM

放送局を手動で記憶させる（マニュアルプリセット）

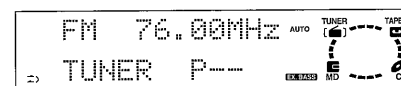
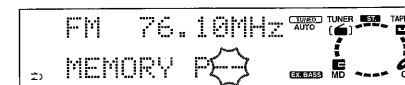
お好みの放送局だけを選んで、1局ずつ記憶（プリセット）できます。

リモコンのみ

1 FM/AMキーを押して、AMまたはFMを選ぶ

FM 76.00MHz
TUNER P--

2 AUTO/MANU.（オート/マニュアル）キーを押して、AUTO（オート）を点灯させる

AUTOが点灯

FM 76.00MHz
TUNER P--

3 ◀◀キーまたは▶▶キーを押して、記憶させたい放送局を受信する

4 受信中にENTER（エンター）キーを押す

FM 76.10MHz
MEMORY P

5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、プリセットナンバーを選ぶ

|◀◀キーまたは▶▶|キーを押したままにすると、プリセットナンバーをスキップします。

数字キーで選ぶこともできます。

例　13局目：+10、3
　　20局目：+10、+10、0

6 もう一度ENTER（エンター）キーを押す

続けてプリセットするには

手順1～6を繰り返します。

電波の弱いラジオ局をプリセットするには

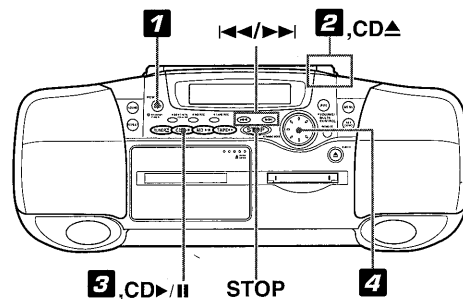
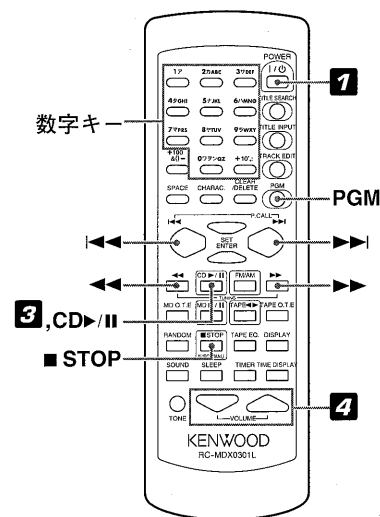
手順2でAUTO/MANU.（オート/マニュアル）キーを押してAUTO（オート）を消灯させ、マニュアル選局にします。

POINT

- 同じ番号に重ねて記憶させると、新しい記憶内容に変更されます。

準備編

CDを聞く

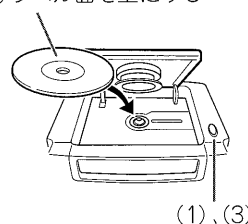
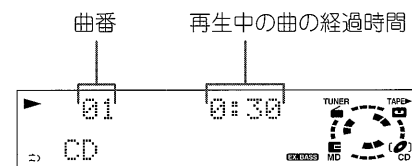
CDを再生してみましょう。

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) **CD▲**キーを押して、上ぶたを開ける。

(2) CDを入れる。

(3) もう一度**CD▲**キーを押して、上ぶたを閉める。

3 CD▶/IIキーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する、または、リモコンのVOLUMEキーを押す

キーの操作

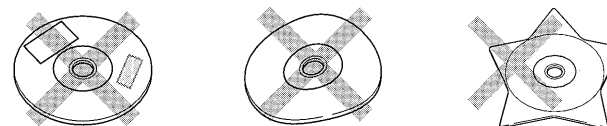
目的	操作
停止する	**STOP**キー(リモコンの **■STOP**キー)を押す。
一時停止する	**CD▶/II**キーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶときは、▶▶|キーを押す。 前の曲を選ぶときは、|◀◀キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 例　10曲目:+10、0　23曲目:+10、+10、3 **PGM**が点灯しているときは、リモコンの**PGM**キーを押して消灯させてください。

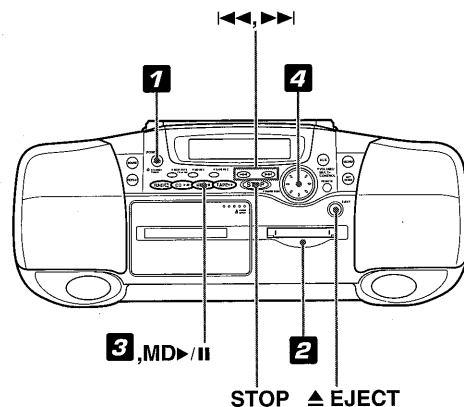
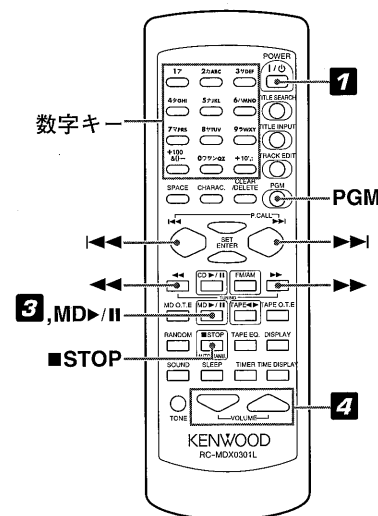
ディスクを取り出すには

再生を止めてから、**CD▲**キーを押して上ぶたを開けます。

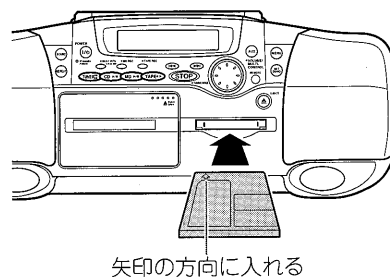
POINT

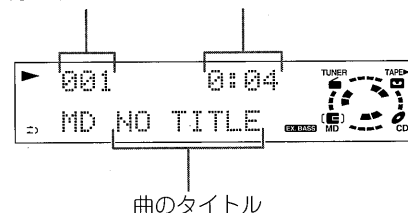
- 上ぶたを直接手で開閉しないでください。無理に上ぶたを開閉すると、故障の原因となります。
- スタンバイ状態では、CDを出し入れすることはできません。
- あらかじめCDを入れておくと、スタンバイ状態中に**CD▶/II**キーを押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります(ワンタッチオペレーション)。
- CD-TEXT対応のCDを再生すると、CDに収録されているテキスト情報(ディスクのタイトルまたは曲のタイトル)を自動的に表示します(33ページ)。
- 再生できるCDについては、***本機で使用できるディスクについて***(73ページ)をご覧ください。

変形CD(星形、ハート形等)、ひび割れがある、大きく反ったディスク、ディスク保護のためのスタビライザー等は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

MDを聴く

MDを再生してみましょう。

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 MDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

矢印の方向に入れる

3 MD▶/IIキーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する、または、リモコンのVOLUMEキーを押す

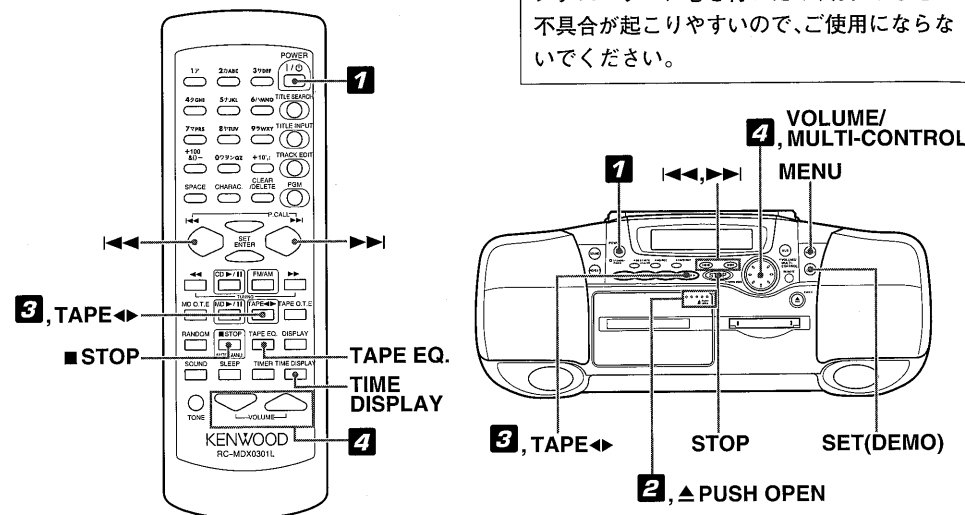
キーの操作

目的	操作
停止する	STOPキー（リモコンの ■STOPキー）を押す。
一時停止する	MD▶/IIキーを押す。もう一度押すと再生を始めます。
曲を飛び越す	次の曲を選ぶときは、▶▶|キーを押す。 前の曲を選ぶときは、|◀◀キーを押す。
早送りをする	再生中リモコンの▶▶キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
早戻しをする	再生中リモコンの◀◀キーを押したままにして、聴きたいところで離す。
好きな曲から聴く	聴きたい曲番をリモコンの数字キーを使って入力する。 例　10曲目：+10、0　23曲目：+10、+10、3 PGMが点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

ディスクを取り出すには

再生を止めてから、▲EJECTキーを押します。

MDの再生モードについて

MDの曲は、録音したときのモードに従って再生されます。TIME DISPLAYキーを押して、再生中の曲の録音モードを確認することができます（34ページ）。

* MDLPは、MD規格に適合した新しい音声圧縮方式ATRAC3を採用して、ステレオ2倍（または4倍）長時間録音・再生モードの機能を持ったMDレコーダーやMDプレーヤー、またはATRAC3による音声録音されているMDメディア（再生専用MD）に表示されています。

POINT

- スタンバイ状態では、MDを出し入れすることはできません。無理にMDを入れると、故障の原因となります。
- あらかじめMDを入れておくと、スタンバイ状態中にMD▶/IIキーを押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります（ワンタッチオペレーション）。
- MDにタイトルが記録されているときは、MDに記憶されているディスクのタイトルまたは曲のタイトルが表示されます。
- 本機はモノラルモードで録音されたMDも再生することできます。

テープを聴く

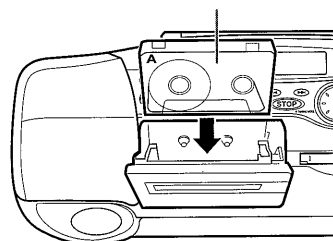
テープを再生してみましょう。

90分を越えるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 カセットテープを入れる

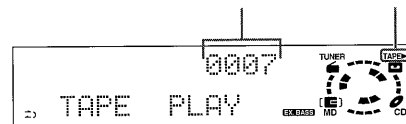
▲PUSH OPEN表示部を押して、カセットホルダーを開け、テープを入れます。

聴きたい面を表に

3 TAPE◀ ▶キーを押す

押すたびにテープの再生方向が切り換わります。

TAPE ▶:表面を再生します。

TAPE ◀:裏面を再生します。

テープカウンター　再生方向

0007　TAPE PLAY

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する、またはリモコンのVOLUMEキーを押す

キーの操作

目的	操作
停止する	STOPキー(リモコンの■STOPキー)を押す。
早送りをする	TAPE ▶のときは、停止中に▶▶|キーを押す。 TAPE ◀のときは、停止中に|◀◀キーを押す。
巻き戻しをする	TAPE ▶のときは、停止中に|◀◀キーを押す。 TAPE ◀のときは、停止中に▶▶|キーを押す。

- 再生中に|◀◀キーまたは▶▶|キーを押すと、曲を飛び越して選曲することができます(40ページ)。

テープを取り出すには

再生を止めてから▲PUSH OPEN表示部を押します。

ドルビー録音されたテープを聴く(TAPE EQ.)

ドルビー録音されたテープを聴くときのみ使用します。高音域のノイズを低減することができます。

リモコンのTAPE EQ.キーを押して、TAPE EQ.を点灯させます。

- ドルビー録音をしていないテープの場合は、正常な音で再生されません。リモコンのTAPE EQ.キーを押して、TAPE EQ.を消灯させてください。

テープのリバースモードを設定する(TAPE RVS.)

(1) MENUキーを押す。

(2) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してTAPE RVS. ?を選んでから、SET(DEMO)キーを押す。

(3) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、好みのリバースモードを選ぶ。

⇀ ONE-WAY　：片面のみを再生して止まります。

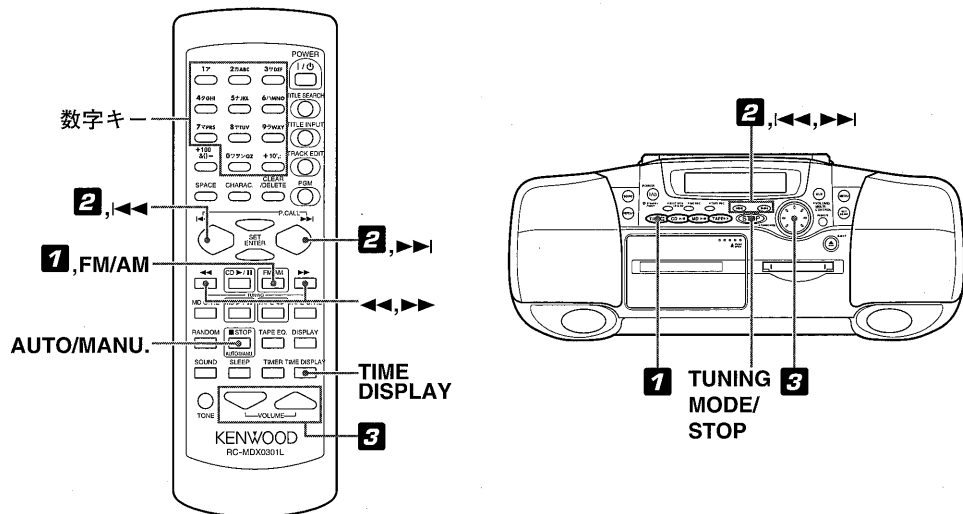
⊃ REVERSE　：両面を再生して止まります。

⊂⊃ ENDLESS　：両面を繰り返し再生します。

POINT

- あらかじめテープを入れておくと、スタンバイ状態中にTAPE◀▶キーを押すだけで自動的に電源が入り、再生が始まります(ワンタッチオペレーション)。
- リモコンのTIME DISPLAYキーを押すたびに、ディスプレイの表示が、テープカウンター、時刻表示、録音モードに切り換わります。
- カセットホルダーを開閉すると、テープカウンターは0000に戻ります。
- ノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)、メタル(TYPE IV)のテープが再生可能です。
- 再生中にはカセットホルダーを開けないでください。故障の原因となることがあります。

ラジオを聴く

あらかじめ記憶(プリセット)させた放送局をワンタッチで選んで聴くことができます。プリセットのしかたについては*放送局を記憶させる*(15〜17ページ)をご覧ください。

1 **TUNER FM/AMキー(リモコンのFM/AMキー)を押す**

2 **|◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、放送局を選ぶ**

押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

FM 76.10MHz
Inter FM

3 **VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調整する、またはリモコンのVOLUMEキーを押す**

数字キーで放送局を選ぶには

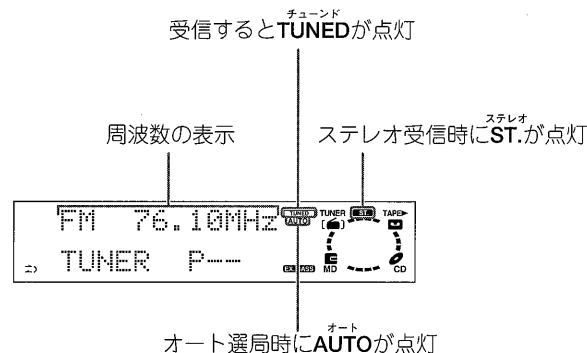
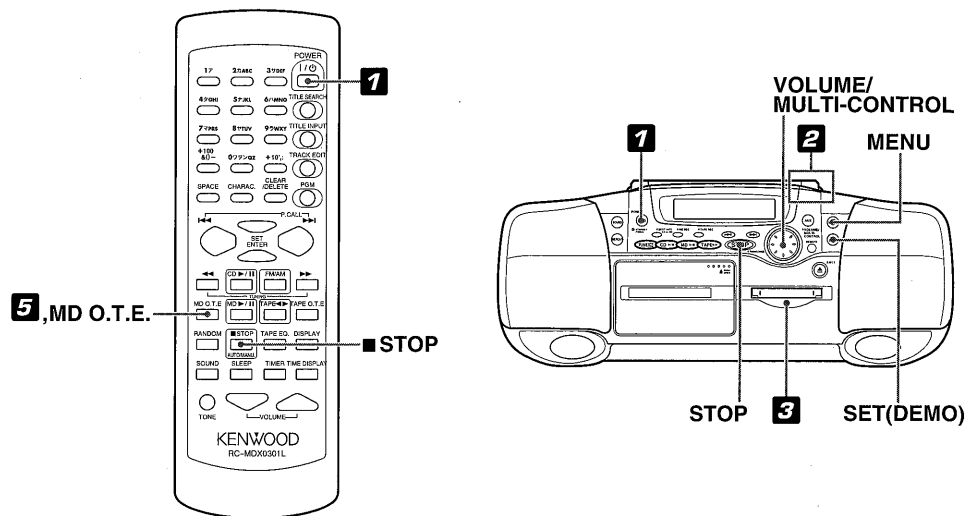
聴きたいラジオ局のプリセット番号をリモコンの数字キーを使って入力します。
例　23局目:+10、+10、3　40局目:+10、+10、+10、+10、0

記憶させていない放送局を選ぶ

受信状態によって、オート選局とマニュアル選局に切り換えることができます。

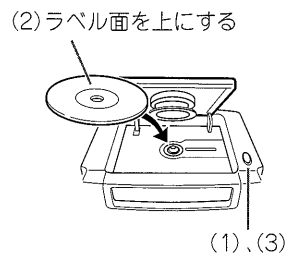
(1)　本体の**TUNING MODE(STOP)**キー(リモコンの**AUTO/MANU.**キー)を押して、選局モードを選ぶ。
AUTO点灯:受信の状態が良いときはオート選局モード(ステレオ受信)を選びます。
AUTO消灯:雑音が入るときはマニュアル選局モード(モノラル受信)を選びます。

- 通常は、**AUTO**(オート選局、ステレオ受信)にしておきます。

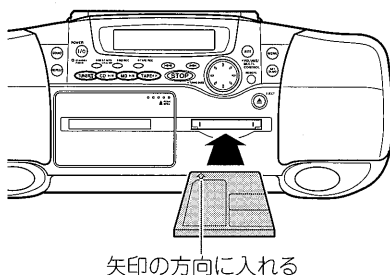
(2)　**AUTO**または**MANUAL**が表示している間に本体の|◀◀キーまたは▶▶|キーを押して選局する。
または、リモコンの◀◀キーまたは▶▶キーを押して選局する。
オート選局:押すたびに次の放送局を自動的に受信します。
マニュアル選局:希望する放送局を受信するまで押し続けます。

POINT

- スタンバイ状態中に**TUNER FM/AM**キー(リモコンの**FM/AM**キー)を押すだけで自動的に電源が入り、受信状態になります(ワンタッチオペレーション)。
- 選局時に|◀◀キーまたは▶▶|キーを押したままにすると放送局をスキップします。
- リモコンの**TIME DISPLAY**キーを押すたびに、ディスプレイの表示が、周波数表示、時刻表示、録音モードに切り換わります。

CDをMDに録音する(MD O.T.E.)

CDの全曲をワンタッチでMDに録音(全曲録音)できます。今聴いている曲をワンタッチで曲の頭から録音(1曲録音)することもできます。

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) **CD▲**キーを押して、上ぶたを開ける

(2) CDを入れる。

(3) もう一度**CD▲**キーを押して、上ぶたを閉める。

CDが再生中のときは、停止させてください。

3 録音可能なMDを入れる

MDを本機の挿入口へ確実に差し込んでください。

4 お好みの録音モードを選ぶ

(1) **MENU**キーを押す。

(2) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**REC MODE ?**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。

(3) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して好みの録音モードを選び、**SET(DEMO)**キーを押す。

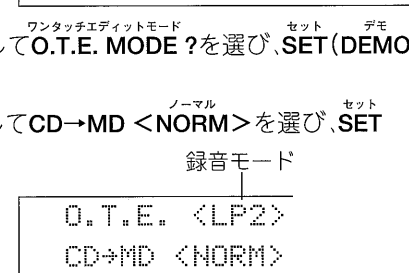
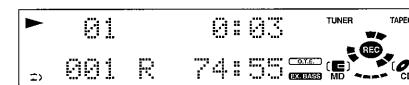
REC MODE
録音モード — LP2

SP ステレオ録音:MDカートリッジに表示されている時間分録音できます。

LP2 ステレオ2倍長時間録音:MDカートリッジに表示されている時間の2倍、録音できます。

LP4 ステレオ4倍長時間録音:MDカートリッジに表示されている時間の4倍、録音できます。

(4) (3)で**LP2**または**LP4**を選んだときは、**VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回してSTAMP機能のONまたはOFFを選び、**SET(DEMO)**キーを押す。(STAMP機能については、41ページをご覧ください。)

ON :曲タイトルの頭の部分に「LP:」を入れます。

OFF :曲タイトルの頭の部分に「LP:」を入れません。

5 リモコンのMD O.T.E.キーを押す

本体で操作するときは:

► 01 0:03 TUNER TAPE►
001 R 74:55 O.T.E. EX.BASS MD REC CD

(1) **MENU**キーを押す。

(2) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**O.T.E. MODE ?**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。

(3) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**CD→MD <NORM>**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。

CDの1曲目から録音が始まります。

録音モード
O.T.E. <LP2>
CD→MD <NORM>

録音を途中でとめるには

STOPキー(リモコンの ■**STOP**キー)を押します。

再生、録音とも停止します。

次ページに続く➡

今聴いているCDの曲を録音する(1曲録音)

(1) 録音したいCDの曲を再生する。
(2) 好みの録音モードを選ぶ(27ページ)。
(3) リモコンのMD O.T.E.キーを押す。

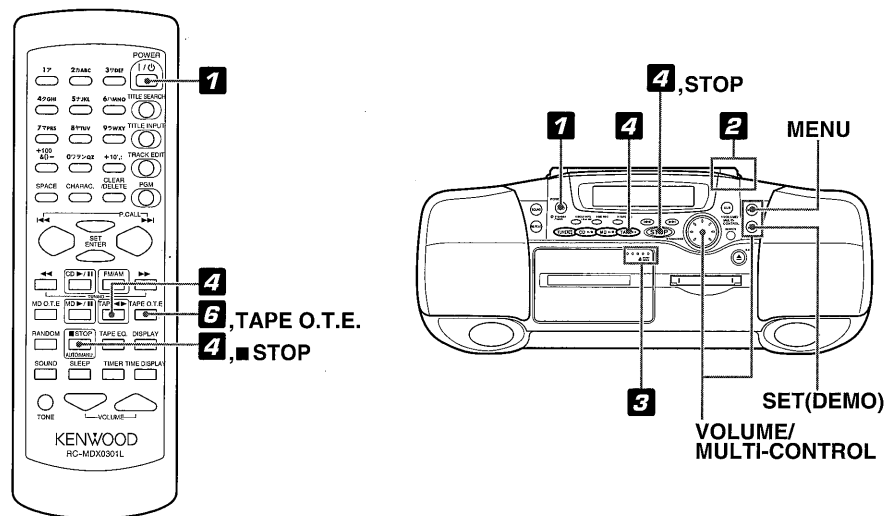
本体で操作するときは:

(1) **MENU**キーを押す。
(2) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**O.T.E. MODE ?**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。
(3) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**CD→MD <NORM>**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。

再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音モード

```
O.T.E. <LP2>
CD→MD <NORM>
```

録音を途中でとめるには

STOPキー(リモコンの■**STOP**キー)を押します。
再生、録音とも停止します。

POINT

- **WRITING**表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 録音可能なMDついては、***MDの取り扱いかた***(74ページ)をご覧ください。

CDをテープに録音する(TAPE O.T.E.)

CDの全曲をワンタッチでテープに録音(全曲録音)できます。今聴いている曲をワンタッチで曲の頭から録音(1曲録音)することもできます。

1 POWER I/⏻ キーを押して、電源を入れる

2 CDを入れる

CDは水平に置いてください。斜めに置くと、故障の原因となります。

(1) CD▲キーを押して、上ぶたを開ける

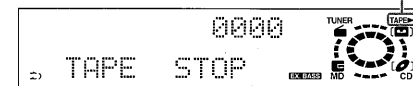
(2) CDを入れる。

(3) もう一度CD▲キーを押して、上ぶたを閉める。

(2)ラベル面を上にする

(1)、(3)

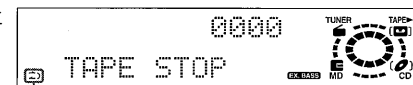
CDが再生中のときは、停止させてください。

3 録音を始めたい面を表にして、録音可能なテープを入れる

▲PUSH OPEN表示部を押して、カセットホルダーを開け、テープを入れます。

4 TAPE◄ ►キーを押してTAPE►を点灯させ、STOPキー(リモコンの■STOP)を押す

TAPE ◄のときは裏面から録音します。

走行方向

0000
TAPE STOP

5 お好みのリバースモードを選ぶ

(1) MENUキーを押す。

(2) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してTAPE RVS. ?を選んでから、SET(DEMO)キーを押す。

(3) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、好みのリバースモードを選ぶ。

⇄ ONE-WAY：片面の録音が終了すると停止します。

⊃ REVERSE：両面の録音が終了すると停止します。

⊂⊃ ENDLESS：両面の録音が終了すると停止します。

0000
TAPE STOP

リバースモード

6 リモコンのTAPE O.T.E.キーを押す

▶ 01 0:04
TAPE 0017

本体で操作するときは：

(1) MENUキーを押す。

(2) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してO.T.E. MODE ?を選び、SET(DEMO)キーを押す。

(3) VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してCD→TAPEを選び、SET(DEMO)キーを押す。

CDの1曲目から録音が始まります。

次ページに続く➡

今聴いているCDの曲を録音する(1曲録音)

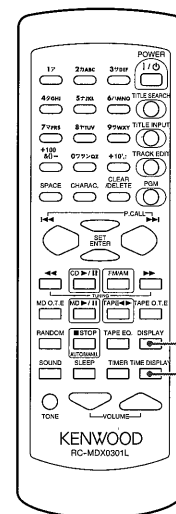
(1) 録音したいCDの曲を再生する。
(2) リモコンのTAPE O.T.E.キーを押す。

本体で操作するときは:

(1) **MENU**キーを押す。
(2) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**O.T.E. MODE ?**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。
(3) **VOLUME/MULTI-CONTROL**つまみを回して**CD→TAPE**を選び、**SET(DEMO)**キーを押す。

再生中の曲の最初に戻ってから、録音が始まります。

録音を途中でとめるには

STOPキー(リモコンの ■**STOP**キー)を押します。

POINT

- 本機はノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)テープで録音が可能です。、メタル(TYPE IV)テープでの録音はできません。
- 録音可能なテープついては、***カセットテープの取り扱いかた***(75ページ)をご覧ください。
- 録音中にはカセットホルダーを開けないでください。故障の原因となることがあります。テープを取り出すときは、必ず停止させてください。

表示について

CDやMDの時間表示や情報を見たり、表示部の明るさを調整することができます。

CDの表示を見る

リモコンの**TIME DISPLAY**キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

1. 再生中の曲の経過時間

► 03 1:23

2. 再生中の曲の残り時間

► 03 -2:37

3. ディスク全体の経過時間

► 03 T 23:45

4. ディスク全体の残り時間

► 03 T-36:15

5. 録音モード

► REC MODE SP

POINT

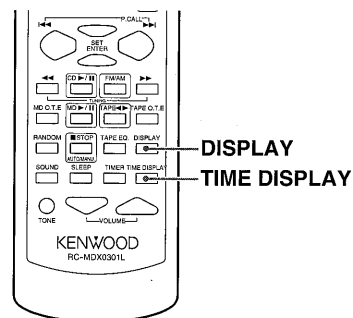
- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1、2、5を表示します。
- 表示時間の合計が100分以上になると、**--:--** と表示されます。

テキスト情報を見るには(CD-TEXT)

CD-TEXT対応のディスクを再生すると、CDに収録されたディスクタイトルと曲のタイトルが自動的に表示されます。CD-TEXT対応のディスクでも表示できないものもあります。表示できる文字数は996文字までです。それ以上は**TEXT FULL**と表示されます。
テキスト情報が表示部に表示しきれないときは、リモコンの**DISPLAY**キーを押します。表示がスクロールして、表示されていなかった部分を確認することができます。

応用編 表示

次ページに続く➡

MDの表示を見る

リモコンの**TIME DISPLAY**キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

再生のとき

1. 再生中の曲の経過時間

► 003　　1:23

2. 再生中の曲の残り時間

► 003　　-2:37

3. ディスク全体の経過時間

► 003 T　23:45

4. ディスク全体の残り時間

► 003 T -36:15

5. ディスク全体の空き時間

► 003 R　20:30

6. 再生中の曲の録音モード

► 003　　SP

POINT

- 1曲リピート再生やランダム再生のときは、1、2、6を表示します。
- 表示時間の合計が1000分以上になると、- - : - - と表示されます。
- 5のディスク全体の空き時間では、現在設定されている録音モードに応じた空き時間が表示されます。

録音のとき

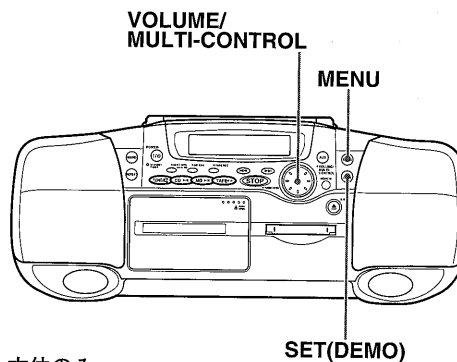
1. ディスクの録音可能時間

014 R　12:08

2. 録音中の曲の経過時間

013　　1:56

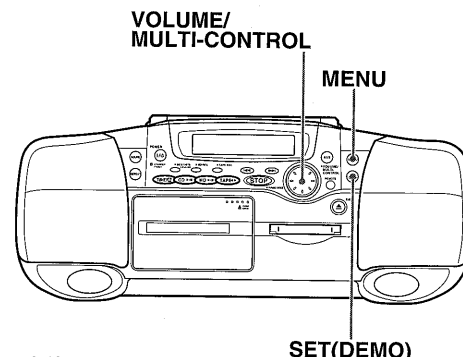
8秒後に1の表示に戻ります。

ディスクのタイトルや曲のタイトルを見るには

MDにディスクのタイトルが記憶されているときは、停止中にディスクのタイトルを自動的に表示します。MDに曲のタイトルが記憶されているときは、再生中に曲のタイトルを自動的に表示します。
タイトルが表示部に表示しきれないときはリモコンの**DISPLAY**キーを押します。
表示がスクロールされ、表示されていなかった部分を確認することができます。

POINT

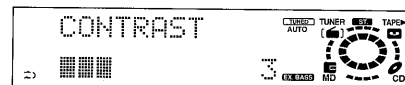
- タイトルが登録されていないときは、**NO TITLE**が表示されます。
- CDからMDへの録音中、曲の録音経過時間を表示しているときに**TIME DISPLAY**キーを押すと、CDの時間表示が切り換わります。

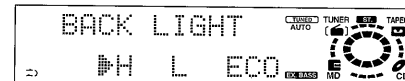
コントラストを調整する

VOLUME/ MULTI-CONTROL
MENU
SET(DEMO)

本体のみ

1 **MENUキーを押す**

2 **VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回してCONTRAST ?を選び、SET(DEMO)キーを押す**

CONTRAST
3

3 **VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回して、好みのコントラストに調整する**

0から6の範囲で調整できます。

バックライトを調整する

本体のみ

1 **MENUキーを押す**

2 **VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回してBACK LIGHT ?を選び、SET(DEMO)キーを押す**

BACK LIGHT
▶H　L　ECO

3 **VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回して、好みの明るさを選び、SET(DEMO)を押す**

H:最も明るくなります。

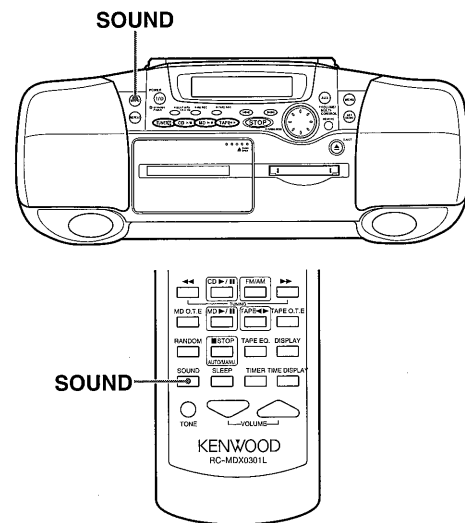
L:明るさを押さえます。

ECO:表示部が暗くなります。乾電池で使用しているときに選ぶことができます。

POINT

- おやすみタイマーを実行しているときは、バックライトを調整することはできません。
- 乾電池で使用しているときは、明るさを**ECO**に設定することをおすすめします。乾電池を長持ちさせることができます。
- **L**や**ECO**に設定しているときは、キー操作などをすると表示部が一瞬明るくなります。

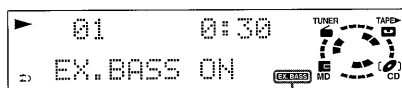
音質を調整する

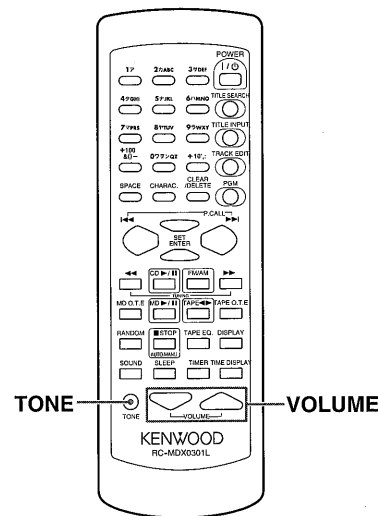
低音と高音を強調する（EX.BASS/LOUDNESS）

SOUNDキーを押して、好みの音質を選ぶ

EX. BASS：音量にかかわらず低音域を強調します。

LOUDNESS：音量に合わせて低高音域を強調します。（小音量時に有効です）

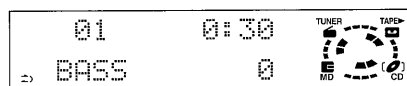
消灯：TONE機能で設定した音質になります。

EX. BASSを選んだとき

例：EX. BASS

低音と高音を細かく調整する（TONE）

リモコンのみ

1 リモコンのTONEキーを押して、BASSまたはTREBLEを選ぶ

BASS：低音域を調整します。

TREBLE：高音域を調整します。

2 VOLUMEキーを押して、好みの音質に調整する

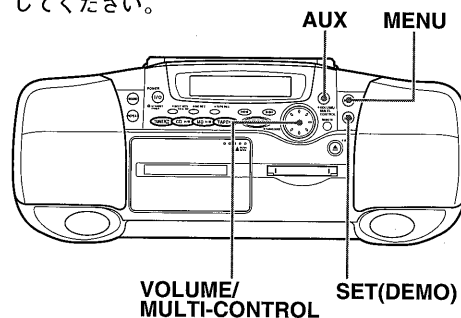
−8から+8の範囲で調整できます。

POINT

- LOUDNESSまたはEX. BASSが点灯中に音質を調整すると、LOUDNESSまたはEX. BASS は解除されます。

入力レベルを調整する

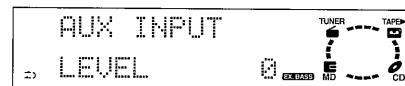
外部入力レベルを調整する

AUX IN入力端子に接続された外部機器（MDプレーヤー、レコードプレーヤー、ビデオデッキなど）からの入力レベルを調整します。CD, MDなどと同じくらいの大きさで聞こえるように調整してください。

本体のみ

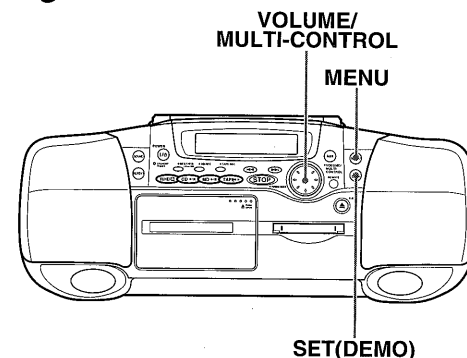
1 AUXキーを押して、外部入力を選ぶ

2 接続した機器を再生して、音量を確認する

3 MENUキーを押す

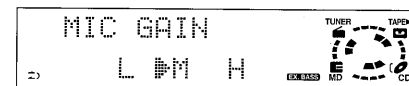
4 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回してAUX INPUT ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

5 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回して、入力レベルを微調整する

-6から+3の範囲で調整することができます。

マイクの入力レベルを調整する

本体のみ

1 マイクをつないでマイクの音量を確認する

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回してMIC GAINを選び、SET(DEMO)キーを押す

4 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回して、入力レベルを選ぶ

H：音量が大きくなります。

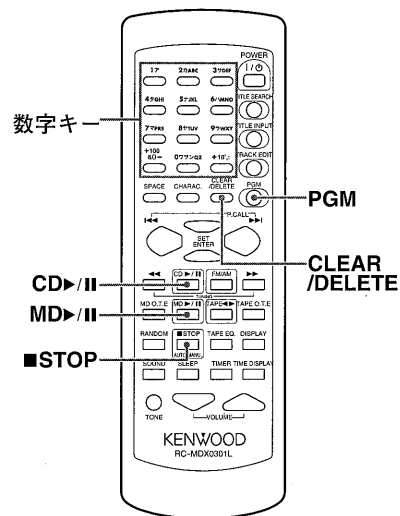
M：通常の設定値です。

L：音量を押さえます。

POINT

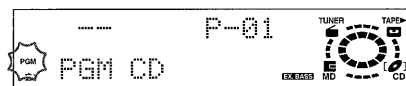
- マイクの音が小さいときは、Hに設定してください。
- マイクはモノラル対応です。

CDやMDの曲順を並べ替えて聴く(PGM)

好きな曲を好きな順番に、最大32曲までプログラムして聴くことができます。

リモコンのみ

1 CDのとき:CD▶/IIキーを押す
MDのとき:MD▶/IIキーを押す

2 ■STOPキーを押す

3 PGMキーを押す

4 聴きたい曲を選ぶ

数字キーを押す順序の例

23曲目:+10、+10、3

40曲目:+10、+10、+10、+10、0

(8秒以内に手順**5**へ進んでください。)

5 SETキーを押す

2曲以上選ぶときは、手順**4**、**5**を繰り返します。

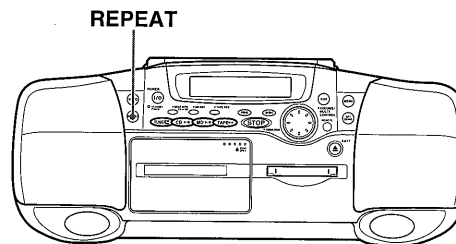
間違えたときは

CLEAR/DELETEキーを押して曲番を消し、選び直します。

6 CDのとき:CD▶/IIキーを押す
MDのとき:MD▶/IIキーを押す

プログラム再生をやめるには

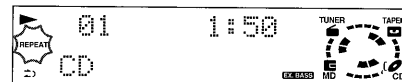
■STOPキー(本体のSTOPキー)を押します。

プログラムした曲を取り消すには

停止中にCLEAR/DELETEキーを押します。押すたびに最後の曲から1曲ずつ消えていきます。一度に全部消すときは、PGMキーを押します。

POINT

- PGM FULLと表示されると、それ以上曲を選ぶことはできません。

CDやMDを繰り返し聴く(REPEAT)

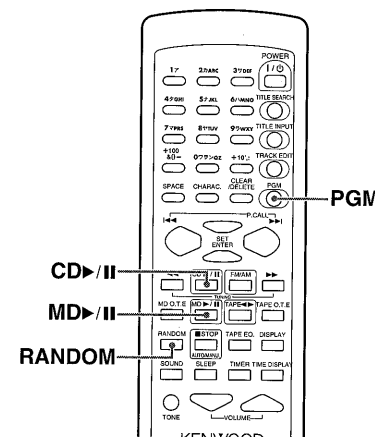
お気に入りの曲を繰り返し聴くことができます。プログラム再生やランダム再生のときでも利用することができます。

本体のみ

再生中にREPEATを繰り返し押して、REPEATまたはREPEAT ALLを点灯させる

REPEAT:再生中の曲だけを繰り返します。

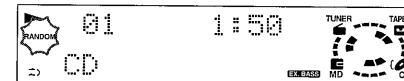
REPEAT ALL:ディスクの全曲を繰り返します。

REPEATを選んだとき

リピート再生をやめるには

REPEATキーを繰り返し押して、REPEATおよびREPEAT ALLを消灯させます。

POINT

- ランダム再生やプログラム再生のときは、REPEATが点灯し、全曲を繰り返します。

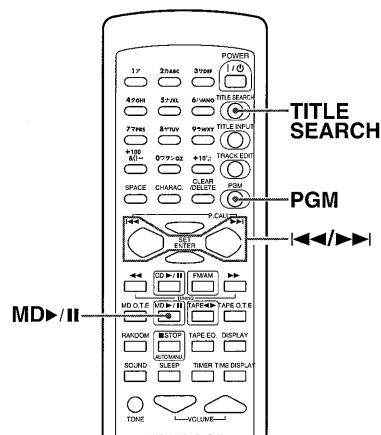
CDやMDを順不同で聴く(RANDOM)

曲が順不同に再生されるので、飽きることなく楽しめます。

リモコンのみ

1 CDのとき:CD▶/IIキーを押す
MDのとき:MD▶/IIキーを押す

PGMが点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

2 RANDOMキーを押して、RANDOMを点灯させる

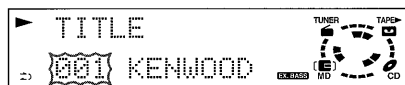
ランダム再生をやめるには

RANDOMキーを押して、RANDOMを消灯させます。

POINT

- 全曲の再生が1回終わると停止します。

MDの聴きたい曲をタイトルで探す

MDにタイトルを記憶させてあるときは、聴きたい曲をタイトルで探すことができます。

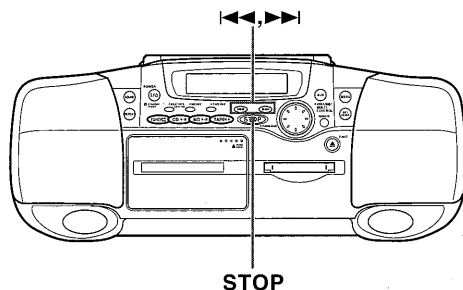
TITLE SEARCH
PGM
⏮/⏭
MD▶/II

リモコンのみ

1 MD▶/IIキーを押す

PGM(プログラム)が点灯しているときは、リモコンのPGM(プログラム)キーを押して消灯させてください。

2 TITLE SEARCH(タイトル サーチ)キーを押す

▶ TITLE
001 KENWOOD

3 ⏮キーまたは⏭キーを押して、聴きたい曲を選ぶ

4 MD▶/IIキーを押す

POINT

- 本機でMDにディスクのタイトルや曲のタイトルをつけることができます(52ページ)。

テープの聴きたい曲を探す(DPSS=Direct(ダイレクト) Program(プログラム) Search(サーチ) System(システム))

曲間に4秒以上の無音部分があると、曲の頭出しをしたり、最大16曲まで曲を飛び越して目的の曲を再生することができます。

⏮,⏭
STOP

再生中に⏮キーまたは⏭キーを押して、聴きたい曲を選ぶ

押した回数分の曲を飛び越します。

走行方向	操作
TAPE(テープ) ▶点灯	先の曲を選ぶときは、⏭キーを押す。 前の曲を選ぶときは、⏮キーを押す。
◀ TAPE(テープ) 点灯	先の曲を選ぶときは、⏮キーを押す。 前の曲を選ぶときは、⏭キーを押す。

DPSS選曲をやめるには

STOP(ストップ)キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押します。

ステレオ長時間録音について

本機は、MDのステレオ長時間録音に対応しています。(MDLP対応機器です)
録音モードにはステレオ録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があり、本機のMDで録音できるすべての音楽ソースに使用できます。また、同じMDに異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。録音する前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

録音モードの種類

ステレオ録音(SP)

録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ2倍長時間録音(LP2)

音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている時間の2倍になります。

ステレオ4倍長時間録音(LP4)

音声はステレオのまま、録音可能時間がMDカートリッジに表示されている時間の4倍になります。

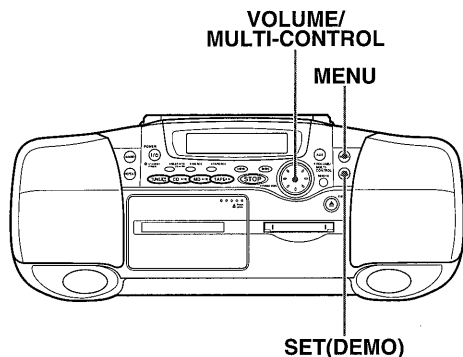
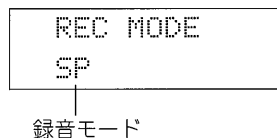
スタンプ(STAMP)機能

本機でステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲の曲タイトルのはじめの部分に「**LP:**」を自動的につける機能です。
「**LP:**」は、MDLPに対応していない機器でステレオ長時間録音された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。本機ではスタンプ(STAMP)機能のON(オン)(「**LP:**」をつける)またはOFF(オフ)(「**LP:**」をつけない)の設定もすることができます。

POINT

- 本機のMDでステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲は、MDLPに対応した機器で再生することができます。MDLPに対応していない機器で再生すると、無音状態で再生されます。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に「**LP:**」が表示されます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音(SP)で録音してください。
- 「**LP:**」は本機での再生時には表示されません。タイトル編集時にのみ表示されます。「**LP:**」を変更や消去することもできます(53ページ)。

録音モードの設定

VOLUME/
MULTI-CONTROL
MENU
SET(DEMO)

本体のみ

1 MENUキーを押す

2 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回してREC MODE?を選び、SET(DEMO)キーを押す

現在設定されている録音モードが表示されます。

```
REC MODE
SP
```

録音モード

3 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回して、録音モードを選ぶ

SP　ステレオ録音：MDカートリッジに表示されている時間分録音できます。

LP2　ステレオ2倍長時間録音：MDカートリッジに表示されている時間の2倍、録音できます。

LP4　ステレオ4倍長時間録音：MDカートリッジに表示されている時間の4倍、録音できます。

LP2を選んだとき

```
REC MODE
LP2
```

4 SET(DEMO)キーを押す

SPを選んだときは、録音モードを設定する前の表示に戻ります。

LP2またはLP4を選んだときは、STAMPの設定をする画面が表示されます。手順5へ進みます。

```
LP: STAMP
    OFF  ▶ON
```

5 VOLUME/ MULTI-CONTROLつまみを回してONまたはOFFを選び、SET(DEMO)キーを押す

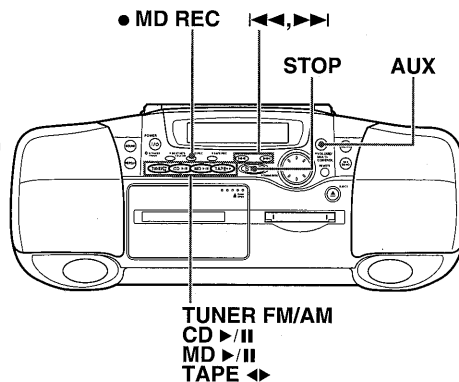
ON：曲タイトルの頭の部分に「LP:」を入れます。

OFF：曲タイトルの頭の部分に「LP:」を入れません。

「LP:」を入れるとき

```
LP: STAMP
    OFF  ▶ON
```


MDに録音する

好みの音楽ソースをMDに録音することができます。設定されている録音モードで録音されます(42ページ)。

本体のみ

1 録音可能なMDを入れる

2 録音モードを設定する(42ページ)

3 録音する音楽ソースを選ぶ

CD：CD▶/IIキーを押す。

テープ：TAPE◀▶キーを押す。

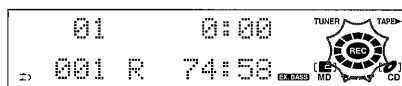
ラジオ：TUNER FM/AMキーを押す。

外部入力：AUXキーを押す。

すでにCDやテープが入っているときは、再生が始まりますので、STOPキー(リモコンの■STOPキー)を押して停止させます。

4 ● MD RECキーを押す

録音一時停止状態になります。

```
 01        0:00
001 R    74:58
```

5 録音する音楽ソースの準備ができたら、もう一度● MD RECキーを押す

6 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

STOPキー(リモコンの■STOPキー)を押します。

POINT

- WRITING表示中は電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

録音を一時停止するには

録音中にMD▶/IIキーを押します。
この状態から再び録音を始めるときは、● MD RECキーを押します。

メッセージが表示されて録音できないときは

メッセージ表示の一覧(80ページ)をご覧ください。

CDを録音するときのポイント

CDを録音するときは、MDを録音一時停止状態にしておくと、CDの再生とMDの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

(1)　CDを再生一時停止状態にする。

(2)　録音したい曲を◀◀ キーまたは▶▶キーで選ぶ。
選んだ曲の始めで、再生一時停止状態になります。

(3)　● MD RECキーを押して、録音一時停止状態にする。

(4)　CDの再生を始める。
シンクロ録音が開始します。

次ページに続く➡

録音時の曲番について

曲番は再生中に曲の頭出しをするときや、プログラムをするときに使用します。

- 下記の操作を行うと、曲番が自動的につきます。
  - CDからMDのデジタル録音中に曲が切り換わるとき
  - 音のない部分が2秒以上続いた後に次の音が入るとき
  - クラシック音楽などで小さい音が続いたとき
  - マイクを抜き差ししたとき
  - 録音が一時停止中にもう一度**●MD REC**キーを押して録音を始めるとき
- 録音中にリモコンの**TRACK EDIT**キーを押すと、その位置に曲番をつけることができます。ただし録音モードが**LP2**または**LP4**で、かつスタンプ機能がONでの録音中は、**TRACK EDIT**キーを押すと**LP:SET**と表示され、その位置に曲番をつけることはできません。
- 下記の操作を行うと、不要な曲番を消すことができます。
  - ***一曲を消す***(62ページ)で不要な曲番を消す。
  - ***曲をつなぐ***(59ページ)で曲と曲をつなげて不要な曲番を消す。

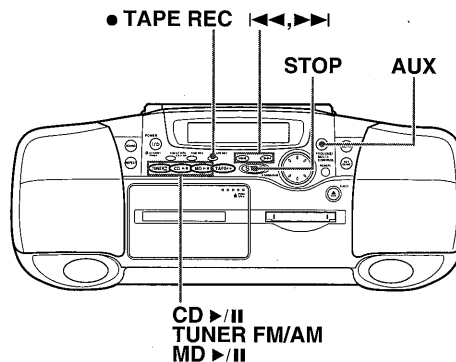
POINT

- スタンバイ状態時は、MDを出し入れすることはできません。スタンバイ状態のときに無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。
- よりよい音で録音するために、AMラジオ放送をMDに録音するときはAMアンテナ切換を**外部**に設定してください。
  内部に設定されてると、AMラジオ放送をMDに録音することができません。
- CDをMDに録音するときは、自動的にデジタル録音になります。ラジオ放送やテープをMDに録音するときや、マイクをつないでCDをMDに録音しているときは、アナログ録音になります。マイクを抜くとデジタル録音に戻ります。
- MD O.T.E.録音でCDをMDに録音すると、便利です(26ページ)。

MDの録音には、CDのデジタル信号をそのまま録音する「デジタル録音」と、ラジオ放送などのアナログ信号をデジタルに置き換えて録音する「アナログ録音」があります。

テープに録音する

CDやラジオなど、好みの音楽ソースをカセットテープに録音できます。

● TAPE REC
|◀◀,▶▶|
STOP
AUX
CD ▶/II
TUNER FM/AM
MD ▶/II

本体のみ

1 録音の準備をする

CDをテープに録音するの手順1、3〜5(30、31ページ)をご覧ください。

2 録音する音楽ソースを選ぶ

CD:**CD▶/II**キーを押す。

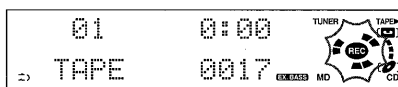
MD:**MD▶/II**キーを押す。

ラジオ:**TUNER FM/AM**キーを押す。

外部入力:**AUX**キーを押す。

すでにCDやMDが入っているときは、再生が始まりますので、**STOP**キー(リモコンの**■STOP**キー)を押して停止させます。

3 録音する音楽ソースの準備ができたら、● TAPE REC キーを押す

01 0:00
TAPE 0017

4 録音する音楽ソースを再生する

録音をやめるには

STOPキー(リモコンの**■STOP**キー)を押します。

録音を一時停止するには

録音中に**●TAPE REC**キーを押します。4秒間の無録音部を作ってから、一時停止します。この状態から再び録音を始めるときは、**●TAPE REC**キーを押します。

CDやMDをテープに録音するときのポイント

CDやMDを録音するときは、テープを録音一時停止状態にしておくと、音楽ソースの再生とテープの録音を同時に始めることができます(シンクロ録音機能)。

(1) CDまたはMDを再生一時停止状態にする。

(2) 録音したい曲を|◀◀キーまたは▶▶|キーで選ぶ。
選んだ曲の初めで、再生一時停止状態になります。

(3) **●TAPE REC**キーを続けて2回押す。4秒間の無録音部を作ってから、録音一時停止状態になります。

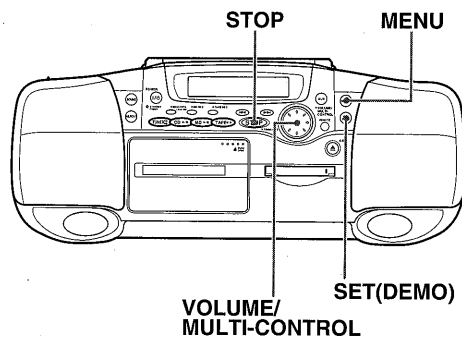
(4) CDまたはMDの再生を始める。
シンクロ録音が開始します。

POINT

- 本機はノーマル(TYPE I)、ハイ(TYPE II)テープで録音が可能です。メタル(TYPE IV)テープでの録音はできません。
- TAPE O.T.E.録音でCDをテープに録音すると便利です(30ページ)。
- AMラジオ放送を録音中に「ピー」という音がしたときは、**SET(DEMO)**キーを押すと雑音を軽減することができます(BEAT CANCEL)。

応用編 録音

CDの全曲をMDに倍速で録音する

CDの全曲を通常の半分の時間で録音することができます。設定されている録音モードで録音されます（42ページ）。

本体のみ

1 録音の準備をする

*CDをMDに録音する*の手順1～4（26、27ページ）をご覧ください。

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してO.T.E. MODE ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してCD→MD<HIGH>を選び、SET(DEMO)キーを押す

CDが最初から再生され、倍速でMDに録音されます。

全ての曲を録音し終わると、CDとMDは自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

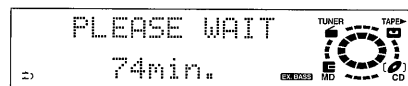
STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押します。

録音、再生ともに停止します。

POINT

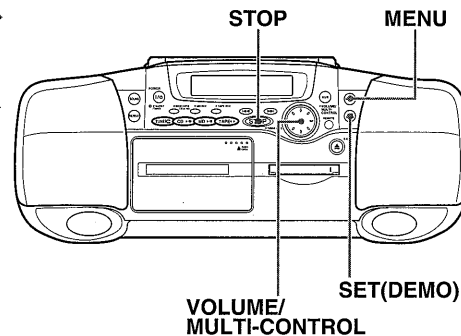
- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- いったん倍速録音CD→MD <HIGH>を始めてしまうと、録音を始めてから74分以内に同じCDを倍速録音することはできません。続けて同じCDを録音したいときは、MD O.T.E.録音をしてください（26ページ）。

同じディスクの倍速録音ができるようになるまでの時間

PLEASE WAIT
74min.

- 倍速録音CD→MD<HIGH>では、CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。この場合は、***ディスクの取り扱いかた***（73ページ）に従ってCDをクリーニングした後、通常速度CD→MD<NORM>で録音し直してください。

CDをMDとテープに同時録音する（TWIN REC）

CDの全曲をMDとテープに同時に録音（全曲同時録音）できます。また、今聴いている曲だけを曲の最初からMDとテープに同時に録音（一曲同時録音）することもできます。MDには、設定されている録音モードで録音されます（42ページ）。

STOP MENU SET(DEMO) VOLUME/MULTI-CONTROL

本体のみ

1 録音の準備をする

MD：*CDをMDに録音する*の手順1～4（26、27ページ）をご覧ください。

テープ：*CDをテープに録音する*の手順1～5（30、31ページ）をご覧ください。

CDやMDやテープは必ず停止状態にします。

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してO.T.E. MODE ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回してTWIN RECを選び、SET(DEMO)キーを押す

CDが最初から再生され、MDとテープに同時に録音が始まります。

録音が終わると、テープは4秒間の無録音部分を作ってから自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

STOPキー（リモコンの■STOPキー）を押します。

録音、再生ともに停止します。

好みの1曲を同時に録音する

（1） 手順2の前に、録音したいCDの曲を再生する。

（2） 手順2～4の操作を行う。

録音が始まると、CDが現在再生されている曲の初めに戻って再生されます。

録音が終わると、CDは再生一時停止状態になり、MDは停止状態になります。テープは4秒間の無録音部を作ってから、自動的に停止します。

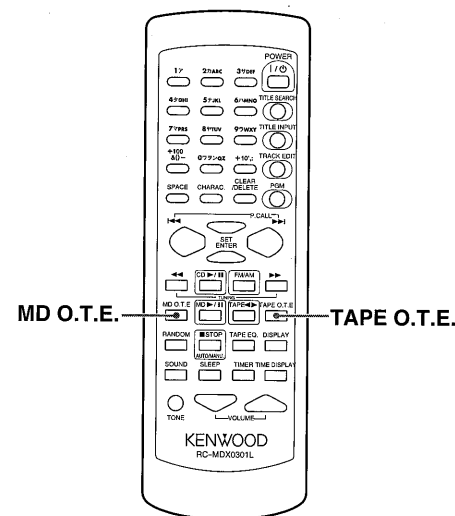
プログラムしたCDの曲を同時に録音する

*CDやMDの曲順を並べ替えて聴く*の手順1～5（38ページ）の操作をした後、手順2からの操作を行ってください。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

CDの曲順を並べ替えてMDやテープに録音する

MDには、設定されている録音モードで録音されます(42ページ)。

リモコンのみ

1 録音の準備をする

MD:*CDをMDに録音する*の手順1～4(26、27ページ)をご覧ください。

テープ:*CDをテープに録音する*の手順1～5(30、31ページ)をご覧ください。

MDやテープは必ず停止状態にします。

2 CDの曲順をプログラムする

*CDやMDの曲を並べ替えて聴く*の手順1～5(38ページ)をご覧ください。

3 録音を開始する

MDに録音するとき:MD O.T.E.(ワンタッチエディット)キーを押す。

テープに録音するとき:TAPE O.T.E.(テープワンタッチエディット)キーを押す。

CDがプログラムした曲順で再生され、録音が始まります。

録音が終わると、テープは4秒間の無録音部を作ってから自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

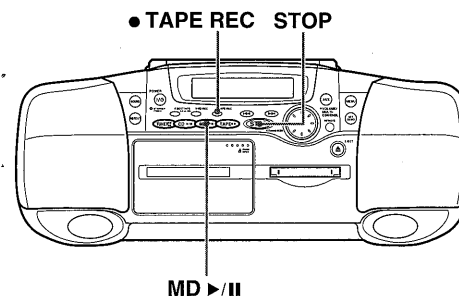
STOP(ストップ)キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押します。

録音、再生ともに停止します。

POINT

- WRITING(ライティング)表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

MDの曲順を並べ替えてテープに録音する

MDの好きな曲だけを好きな順番で再生して、お気に入りの曲だけのテープを作ることができます。

1 録音の準備をする

*CDをテープに録音する*の手順1、3～5(30、31ページ)をご覧ください。

2 MDの曲順をプログラムする

*CDやMDの曲を並べ替えて聴く*の手順1～5(38ページ)をご覧ください。

3 MD▶/❚❚キーを続けて2回押し、MDを再生一時停止状態にする

4 ● TAPE REC(テープ レック)キーを続けて2回押し、テープを録音一時停止状態にする

テープは4秒間の無音部分を作ってから、自動的に録音一時停止状態になります。

5 MD ▶/❚❚キーを押す

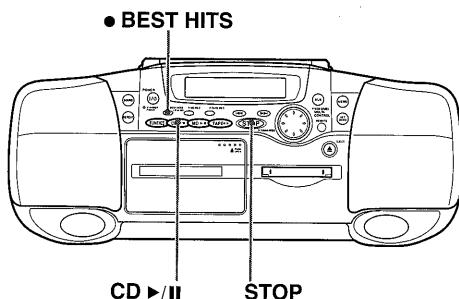
録音が終わると、テープは4秒間の無録音部を作ってから自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

STOP(ストップ)キー(リモコンの■STOP(ストップ)キー)を押します。

録音、再生ともに停止します。

CDの1曲目をMDに録音する(BEST HITS)

CDの1曲目を簡単に録音できます。シングルCDなどの1曲目をまとめてMDに録音するときに便利です。設定されている録音モードで録音されます(42ページ)。

本体のみ

1 録音の準備をする

*CDをMDに録音する*の手順1～4(26、27ページ)をご覧ください。

2 CD▶/IIキーを押す

3 ■STOPキーを押す

PGMが点灯しているときは、リモコンのPGMキーを押して消灯させてください。

4 ● BEST HITSキーを押す

録音が始まります。

CDの1曲目の録音が終わると、CDとMDは自動的に停止します。

5 CDを交換して、● BEST HITSキーを押す

この手順を繰り返して、次々にCDの1曲目を録音していきます。

録音を途中でやめるには

STOPキー(リモコンの■STOPキー)を押します。

録音、再生ともに停止します。

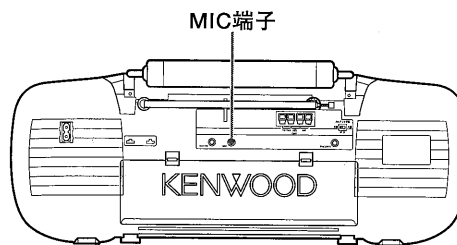
POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

マイクの音を録音する

お好みの音楽ソースと一緒にマイクの音を録音することができます。MDには、設定されている録音モードで録音されます(42ページ)。

MIC端子

KENWOOD

1 本体背面のMIC端子にマイクをつなぐ(13ページ)

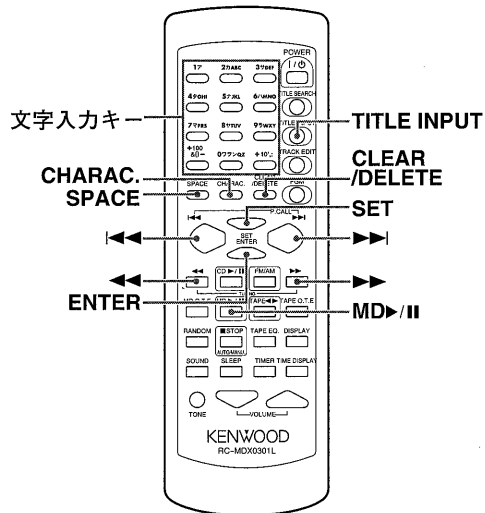
マイクの音量のレベルを調整します(37ページ)。

2 録音をする

MD: ***MDに録音する***(43ページ)をご覧ください。

テープ: ***テープに録音する***(45ページ)をご覧ください。

録音をやめるには

STOPキー(リモコンの■STOPキー)を押します。

POINT

- MIC端子にマイクを接続しているときは、CDからMDへの録音はアナログ録音になります。
- CDをMDに録音しているときにマイクを抜くと、CDは再生一時停止状態になり、MDはアナログ録音からデジタル録音に切り替わります。
- 倍速録音中は、マイクを使用することはできません。
- MDに録音しているときに録音マイクを抜き差しすると、音切れの原因となります。
- マイクを使用しないときは、MIC端子からマイクのプラグを抜いておいてください。

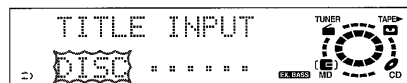
MDのタイトルを編集する

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける

ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけておくと、再生のときに表示されます。聴きたい曲をタイトルで探すときに便利です。

リモコンのみ

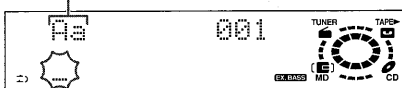
1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

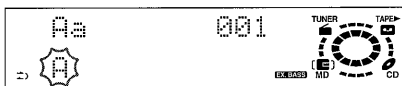
2 TITLE INPUTキーを押す

3 |◀◀または▶▶|キーを押して、DISCまたはタイトルをつけたい曲番(001…)を選ぶ

4 SETキーを押す

5 CHARAC.キーを繰り返し押して、目的の文字グループを選ぶ

Aa:アルファベット
12:数字
アァ:カタカナ

文字グループ

6 文字入力キーを繰り返し押して、目的の文字を選ぶ

入力できる文字については、***タイトル編集文字一覧表***(56ページ)をご覧ください。CLEAR/DELETEキーを押すと、点滅中の文字を消去することができます。SPACEキーを押すと、1文字分のスペースを入力することができます。

7 SETキーを押して、選んだ文字を確定する

手順**5**〜**7**を繰り返して、好みのタイトルを入力します。CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。

8 タイトルを入力し終わったら、ENTERキーを押す

タイトルがMDに記録され、入力したタイトルがスクロールして表示されます。つづけて曲のタイトルをつけるときは、手順**3**〜**8**を繰り返します。

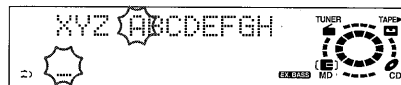
9 TITLE INPUTキーを押す

10 MDを取り出す

途中でやめるには

手順**7**までにTITLE INPUTキーを押します。また、WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

|◀◀キーまたは▶▶|キーで文字を入力する

(1) ***ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける***の手順**1**〜**4**を(52ページ)行う。

(2) |◀◀キーまたは▶▶|キーを押す。

(3) CHARAC.キーを押して文字グループを選ぶ。
英文の大文字グループ:ABC…
英文の小文字グループ:abc…
数字・記号グループ:012…
カタカナグループ:アイウ…
入力できる文字については、***タイトル編集文字一覧表***(56ページ)をご覧ください。

(4) |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して文字を選ぶ。

(5) SETキーを押して、選んだ文字を確定する。CLEAR/DELETEキーを押すと、カーソルの前の文字を消去することができます。

(6) ***ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける***の手順**8**〜**10**(52、53ページ)を行う。

タイトルを変更する

(1) ***ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける***の手順**1**〜**4**(52ページ)を行う。

(2) ◀◀キーまたは▶▶キーを押して変更したい文字を選ぶ。

(3) CLEAR/DELETEキーを押して変更したい文字を消す。

(4) ***ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける***の手順**5**〜**10**(52、53ページ)を行う。

タイトルを消去する

(1) ***ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける***の手順**1**〜**4**(52ページ)を行う。

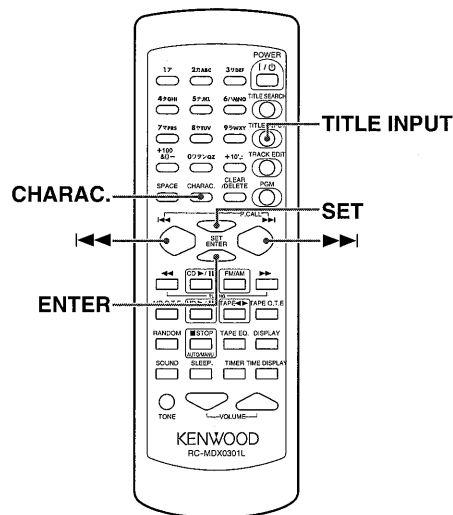
(2) CLEAR/DELETEキーを押す。
文字を消していきます。
ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけるの手順**3**でALL ERASEを選ぶと、すべてのタイトルを一度に消すことができます。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 変更したい文字が表示されないときは、◀◀キーまたは▶▶キーを押すと、カーソルが動き、隠れていた文字が表示されます。
- 曲にタイトルをつけるとき、***ディスクのタイトルや曲のタイトルをつける***の手順**2**(52ページ)の前にタイトルをつけたい曲を再生してからTITLE INPUTキーを押すと、その曲を聴きながらタイトルを入力することができます。
- 入力できる文字数は、全体で1792文字、1曲につき80文字まで入力することができます。

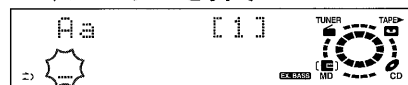
次ページに続く➡

タイトルを登録する(タイトルメモ)

よく使うタイトルを登録して、いつでも呼び出すことができます。

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、MDを入れる

2 TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、[1]〜[3]のいずれかを選び、SET(セット)キーを押す

4 文字を入力する

*ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけるの手順***5**〜**7**(52ページ)を行う。

5 ENTER(エンター)キーを押す

タイトルがスクロールして表示されます。続けてタイトルを登録するときは、手順**3**〜**5**を繰り返します。

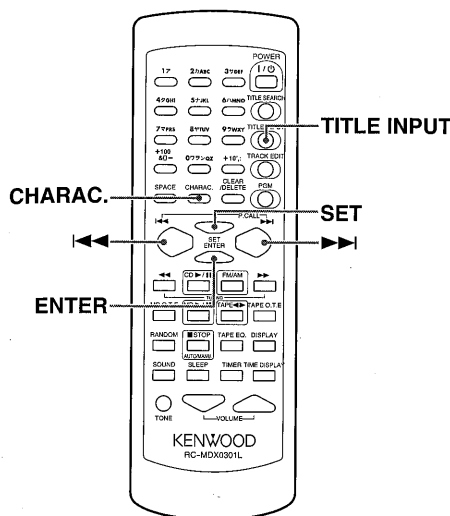
6 TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す

7 MDを取り出す

途中でやめるには

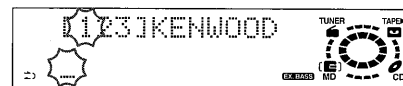
手順**4**までにTITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押します。

タイトルをコピーする

ディスクや曲のタイトルをコピーして使うことができます。

リモコンのみ

1 *ディスクのタイトルや曲のタイトルをつけるの手順***1**〜**4**(52ページ)を行う

2 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押す

3 CHARAC.(キャラクター)キーを繰り返し押して、[123]を表示させる

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、コピーしたいタイトルを選ぶ

[DISC]:ディスクのタイトル
[001]…:曲のタイトル
[123]:タイトルメモ1、2、3のいずれかに登録してあるタイトル(54ページ)

5 SET(セット)キーを押す

タイトルがコピーされます。続けて文字を入力することもできます。

6 ENTER(エンター)キーを押す

タイトルがMDに記録され、タイトルがスクロールして表示されます。

7 TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押す

8 MDを取り出す

途中でやめるには

手順**5**までにTITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押します。
また、WRITING(ライティング)が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。
操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

POINT

- WRITING(ライティング)表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

次ページに続く➡

タイトル編集文字一覧表

次のようなカタカナ文字やアルファベット小文字、並びに各種記号などを選ぶことができます。

リモコンの文字入力キーで文字を選ぶとき

キー ＼ グループ	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	スペース[1][2][3]	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	ABCabc	2	カキクケコ
3サDEF	DEFdef	3	サシスセソ
4タGHI	GHIghi	4	タチツテトッ
5ナJKL	JKLjkl	5	ナニヌネノ
6ハMN O	MNOmno	6	ハヒフヘホ
7マPRS	PRSprs	7	マミムメモ
8ヤTUV	TUVtuv	8	ヤユヨャュョ
9ラWXY	WXYwxy	9	ラリルレロ
0ワヲンQZ	QZqz	0	゛゜ワヲン
+10’，:	’，: ? ! ; . ”_ `$		
+100&()ー	&()ー/+✱=◇#%@		

POINT

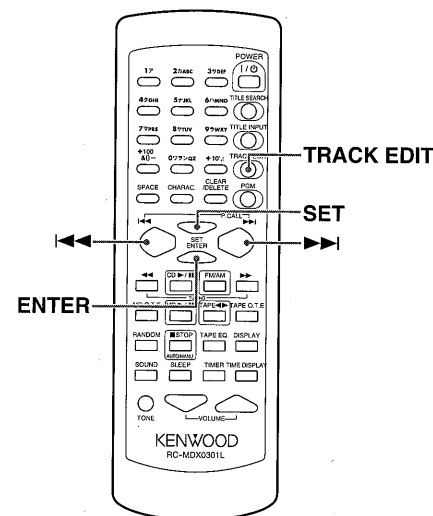
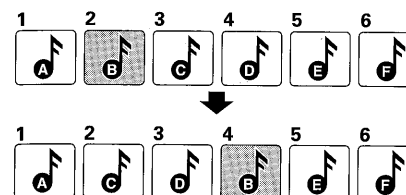
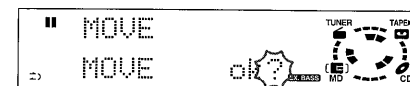
- 「゛」「゜」はカーソル手前の文字によって入力できないことがあります。
- リモコンのSPACE（スペース）キーを押すと、1文字分のスペースが入力されます。

リモコンの⏮キーまたは⏭キーで文字を選ぶとき

英字の大文字グループ	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
英字の小文字グループ	abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
数字・記号グループ	0123456789 !”#$%&’()✱+，ー./:;〈=〉`?@ _
カタカナグループ	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲン ーァィゥェォッャュョヴガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボパピプペポ スペース ー
タイトルメモ／タイトルコピーグループ	[1 2 3][DISC]([001]…)

曲を1曲ずつ移動する

移動させたい曲を選んで、目的の曲番号の位置へ移動（挿入）します。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ換えることができます。前後の曲の曲番号は、自動的に調節されます。

曲を1曲移動するイメージ

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 ⏮キーまたは⏭キーを押して、移動したい曲番を選ぶ

曲が再生されます。

3 TRACK EDIT（トラック エディット）キーを繰り返し押して► MOVE（ムーブ）？を選び、SET（セット）キーを押す

4 ⏮キーまたは⏭キーを押して、選択した曲の移動先を選ぶ

曲番号4の後に移動したとき　点滅

5 SET（セット）キーを押す

MOVE
MOVE ok?

6 ENTER（エンター）キーを押す

7 MDを取り出す

途中でやめるには

手順5までにTRACK EDIT（トラック エディット）キーを押します。

また、WRITING（ライティング）が表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

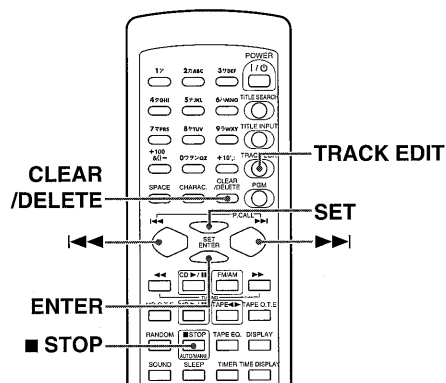
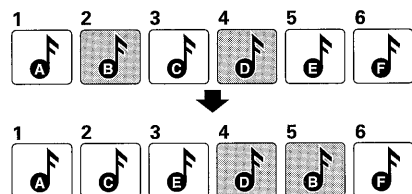
操作については、***編集を取り消す***（64ページ）をご覧ください。

POINT

- WRITING（ライティング）表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

曲をまとめて移動する

並べたい順に曲を選んで、一度に曲を最大32曲までまとめて移動することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をまとめて移動するイメージ

1 2 3 4 5 6

1 2 3 4 5 6

CLEAR/DELETE

TRACK EDIT

SET

ENTER

■ STOP

リモコンのみ

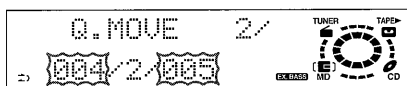
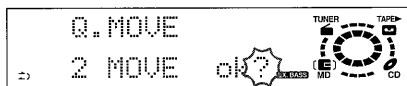
1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

MDが再生中のときは、■STOPキーを押して再生を停止させます。

2 TRACK EDITキーを押して▶Q.MOVEを選び、SETキーを押す

Q.MOVE ⁄ 001

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、移動したい曲番を選び、SETキーを押す

この手順を繰り返して、希望の曲順に並び換えます。　選んだ曲の数

間違えたときは、CLEAR/DELETEキーを押して曲番を消し、選び直します。

4 曲順を並び換えたら、ENTERキーを押す

5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、移動先を選ぶ

曲番号4と5の間に2曲移動したとき

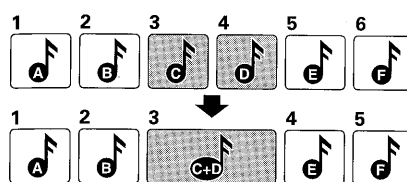
6 SETキーを押す

7 ENTERキーを押す

8 MDを取り出す

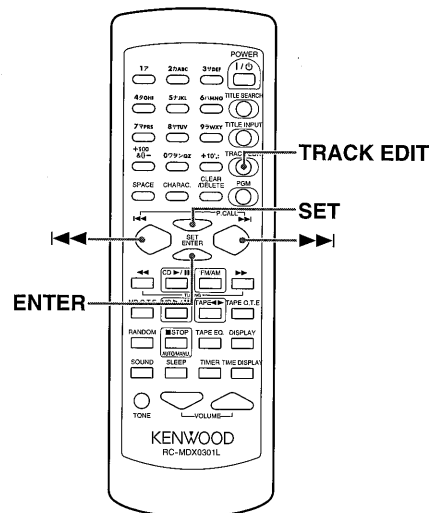
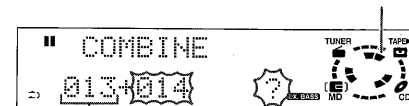
途中でやめるには

手順6までにTRACK EDITキーを押します。また、WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐ

曲と曲をつなぐことができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲をつなぐイメージ

リモコンのみ

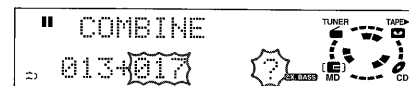
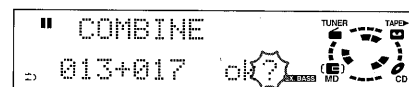
1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、つないだときに前になる曲を選ぶ

曲が再生されます。

3 TRACK EDITキーを繰り返し押して▶COMBINE ？を選び、SETキーを押す

点滅

COMBINE 013+014

手順2で選んだ曲番

4 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、つなぎたい曲を選ぶ

曲番号13と17をつないだとき

5 SETキーを押す

6 ENTERキーを押す

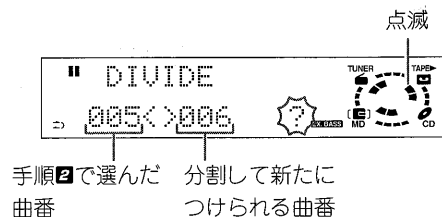
7 MDを取り出す

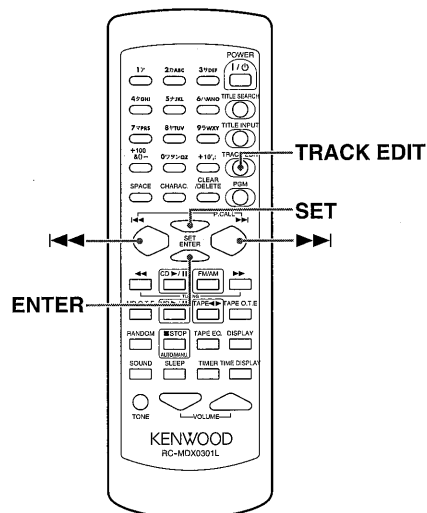
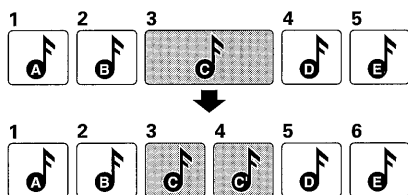
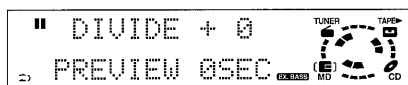
途中でやめるには

手順6までにTRACK EDITキーを押します。また、WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

POINT

- 録音モードが異なる曲をつなげることはできません。
- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

曲を分ける

曲を分割することができます。曲番号は自動的に調節されます。

曲を分けるイメージ

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、分割したい曲番を選ぶ

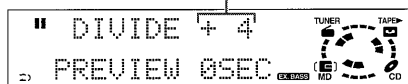
曲が再生されます。

3 分割したいポイントでTRACK EDITキーを繰り返し押して▶DIVIDE ?を選び、SETキーを押す

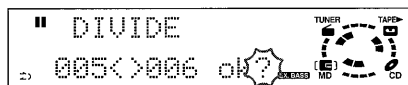
点滅

DIVIDE
005<>006

手順2で選んだ曲番　分割して新たにつけられる曲番

4 もう一度SETキーを押す

曲を分けるポイントが表示され、約3秒間音が繰り返し再生されます。

DIVIDE + 0
PREVIEW 0SEC

5 |◀◀キーまたは▶▶|キーを繰り返し押して、分けるポイントを調整する

繰り返される音を聴きながら調整します。ポイントは−31〜+31まで調整することができます。

ポイント表示

分けるポイントを変えるときは、手順1からやり直します。

6 SETキーを押す

7 ENTERキーを押す

8 MDを取り出す

途中でやめるには

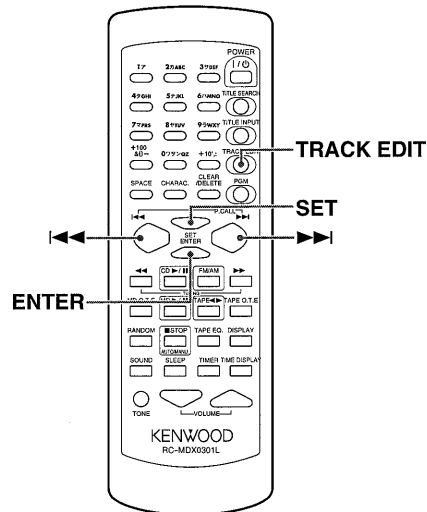
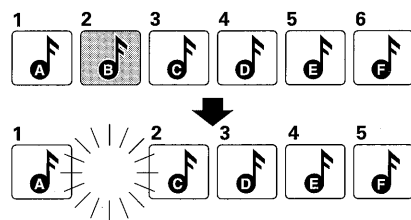
手順6までにTRACK EDITキーを押します。また、WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。

1曲を消す

再生中の曲を消すことができます。曲番号は自動的に調節されます。

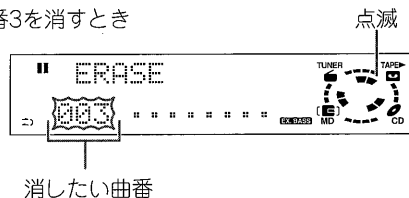
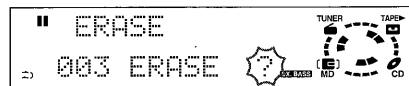
1曲を消すイメージ

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

2 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して、消したい曲を選ぶ

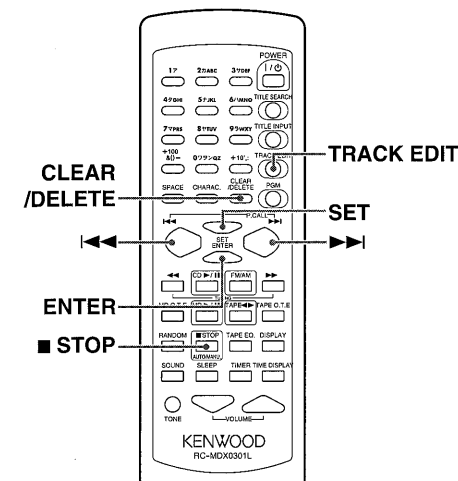
曲が再生されます。

3 TRACK EDITキーを繰り返し押して▶ ERASE ?を選び、SETキーを押す

曲番3を消すとき

4 SETキーを押す

5 ENTERキーを押す

6 MDを取り出す

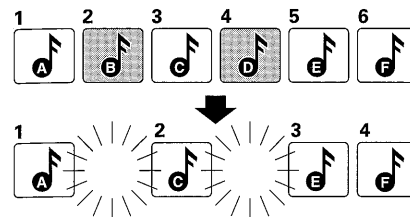
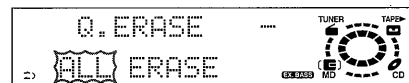
途中でやめるには

手順**4**までにTRACK EDITキーを押します。また、WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

曲をまとめて消す

いくつかの曲を一度に最大32曲まで消すことができます。また、全曲を一度に消すこともできます。曲番号は自動的に調節されます。

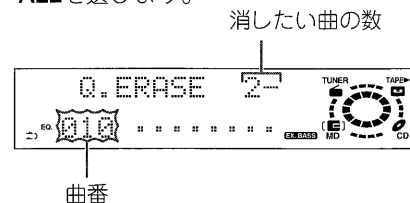
曲をまとめて消すイメージ

リモコンのみ

1 入力切換をMDにして、録音可能なMDを入れる

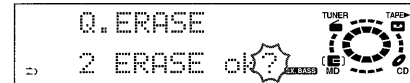
MDが再生中のときは、■STOPキーを押して再生を停止させます。

2 TRACK EDITキーを繰り返し押して▶ Q. ERASEを選び、SETキーを押す

3 |◀◀キーまたは▶▶|キーを押して消したい曲番を選び、SETキーを押す

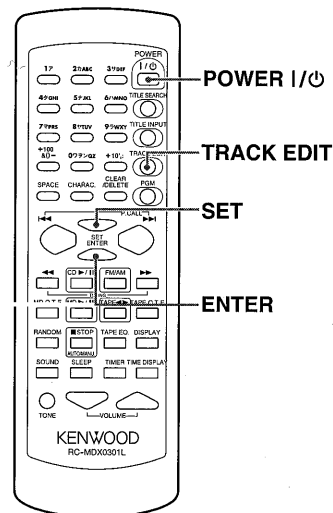
この手順を繰り返して消したい曲を選びます。全曲を消したいときはALLを選びます。

間違えたときはCLEAR/DELETEキーを押して曲番を消し、選び直します。

4 ENTERキーを押す

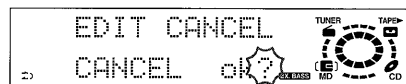
Q.ERASE
2 ERASE ok?

5 もう一度ENTERキーを押す

編集が終了するまで、少し時間がかかります。

6 MDを取り出す

途中でやめるには

手順**4**までにTRACK EDITキーを押します。また、WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。操作については、***編集を取り消す***(64ページ)をご覧ください。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。

編集を取り消す

WRITINGが表示される前であれば、編集を取り消すことができます。

リモコンのみ

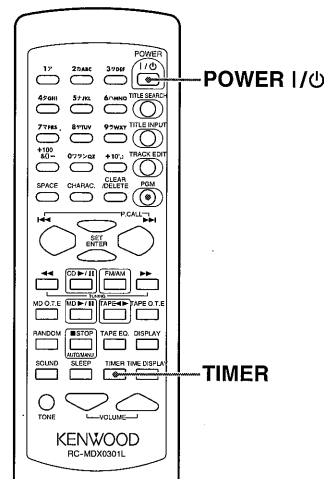
1 MDが停止中にTRACK EDITキーを繰り返し押して►CANCELを選び、SETキーを押す

EDIT CANCEL
CANCEL ok?

2 ENTERキーを押す

3 MDを取り出す

途中でやめるには

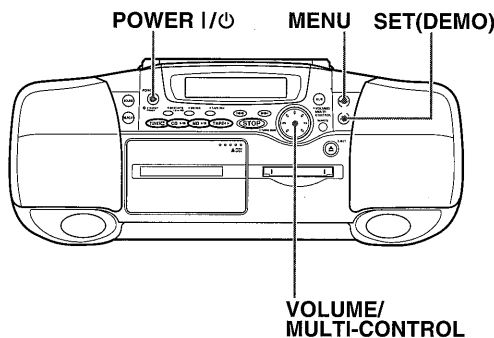
手順**1**までにTRACK EDITキーを押します。

POINT

- WRITING表示中には電源を切ったり、振動や衝撃を加えないでください。
- WRITINGは、以下のときに表示されます。
  - MD録音が終了したとき
  - MDを取り出すとき
  - POWER I/⏻ キーを押してスタンバイ状態にしたとき
- 編集する前には、取り消す作業はできません。

目覚ましタイマーを使う (O.T.T.)

時刻を合わせるだけの操作で、タイマー再生ができます。タイマー再生開始から1時間たつと、電源は自動的に切れます。設定した後の1回だけタイマーが働きます。

POWER I/⏻　MENU　SET(DEMO)

VOLUME/MULTI-CONTROL

■ 設定する

1 入力切換を聴きたい音楽ソースに合わせ、必要な準備をする

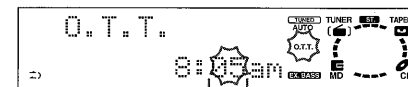
2 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調節する

3 MENUキーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、TIMER SET ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

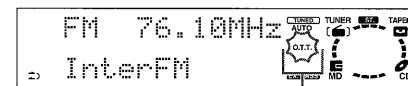
5 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、O.T.T. SET ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

6 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、タイマーが入る時刻（オン時刻）を選ぶ

オン時刻は5分単位で設定することができます。

オン時刻の表示

7 SET(DEMO)キーを押す

■ 実行する

8 リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、O.T.T.を点灯させる

"O.T.T."が点灯

9 POWER I/⏻キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。

目覚ましタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

次ページに続く➡

目覚ましタイマーを使う(O.T.T.)(つづき)

目覚ましタイマーを解除するには

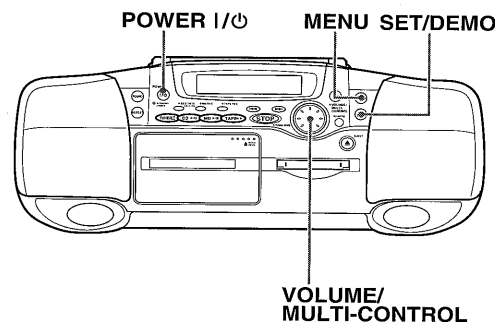
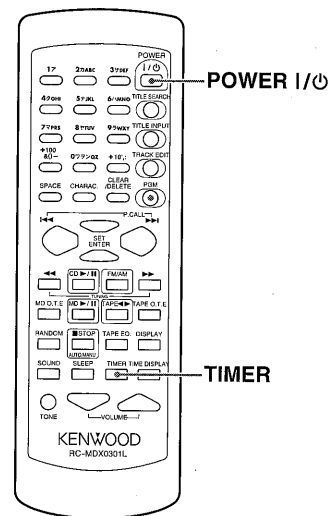
リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、O.T.T.を消灯させます。

同じ内容で目覚ましタイマーを再実行するには

音楽ソースの準備をしてから、リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、O.T.T.を点灯させます。

設定内容を確認したり、変更するには

手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(14ページ)。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、時刻合わせを行ってください(14ページ)。
- 目覚ましタイマーでは、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- 目覚ましタイマーを解除しても、設定内容を記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定した目覚ましタイマーはそのまま残っています。

プログラムタイマーを使う(PROG 1、PROG 2)

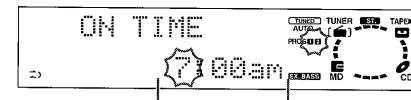
2系統のタイマーが毎日指定した時刻に自動的に電源をオン/オフするよう設定することができます。

プログラムタイマーで再生する

設定した時刻に選んだ音楽ソースを聴くことができます。

■ 設定する

1 聴きたい音楽ソースに合わせて、必要な準備をする

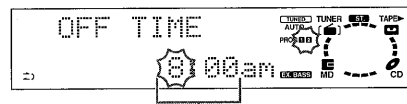
CD:CDを入れる。
MD:MDを入れる。
テープ:テープを入れる。
ラジオ:オートプリセットしておく。
外部入力:AUX端子に接続した機器のタイマーを設定する。

2 MENUキーを押す

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、TIMER SET ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、PROG. 1 SET?またはPROG. 2 SET?を選び、SET(DEMO)キーを押す

5 タイマーが入る時刻(オン時刻)を選ぶ

VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して「時」を選び、SET(DEMO)キーを押します。

タイマーが入る時刻

同様の操作で「分」を選びます。

次ページに続く➡

プログラムタイマーを使う（PROG 1、PROG 2）（つづき）

6 タイマーが切れる時刻（オフ時刻）を選ぶ

オン時刻と同様に設定します。

タイマーが切れる時刻

7 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、PLAYまたはAI PLAYを選び、SET(DEMO)キーを押す

PLAY：スタンバイ状態にする前に調整した音量で再生されます。

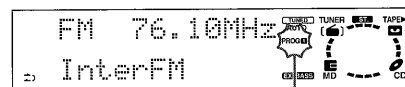
AI PLAY：タイマーの再生が始まると、徐々に音量が大きくなります。

MODE
PLAY

8 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音楽ソースを選び、SET(DEMO)キーを押す

CD、MD、TAPE（テープ）、AUX（外部入力）、TUNER（ラジオ）の中から選ぶことができます。

9 ラジオ放送を聴くときは、VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して聴きたいプリセットナンバーを選び、SET(DEMO)キーを押す

TUNER（ラジオ放送）以外を選んだときは、この操作は必要ありません。

10 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、音量を調節する

調節した音量で再生されます。

AI PLAYを選んだときは、この操作は必要ありません。

■ 実行する

11 リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、実行させたいプログラム番号（PROG. 1、PROG. 2）を点灯させる

プログラム番号

12 POWER I/⏻キーを押して電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーが実行されて、スタンバイ状態になると、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。

プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に再生を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、PROG. 1、PROG. 2を消灯させます。

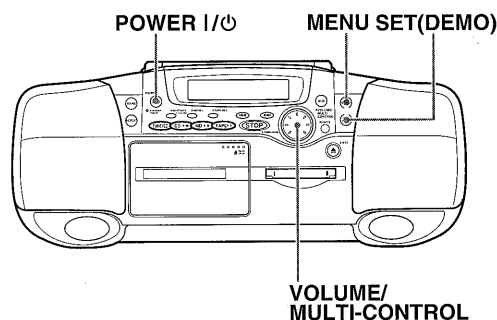
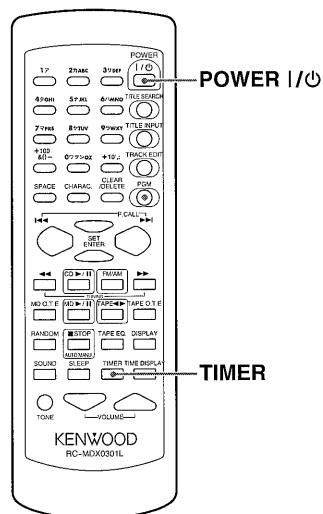
設定内容を確認したり変更するには

手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください（14ページ）。
- タイマー再生では、CDやMDのプログラム再生をすることはできません。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- タイマーを解除しても、設定内容は記憶しています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーはそのまま残っています。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、設定に誤りがあります。手順1からやり直してください。

プログラムタイマーで録音する

設定した時刻にTUNER(ラジオ)またはAUX(外部入力)の音をMDまたはテープに録音することができます。

■ 設定する

1 録音の準備をする

MD:*CDをMDに録音する*の手順1、3(26ページ)をご覧ください。

テープ:*CDをテープに録音する*の手順1、3~5(30、31ページ)をご覧ください。

2 プログラムタイマーで再生するの手順2~6(67~68ページ)を行う

3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、RECを選び、SET(DEMO)キーを押す

4 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、TUNERまたはAUXを選び、SET(DEMO)キーを押す

TUNER:ラジオ放送

AUX:外部入力

5 ラジオ放送を録音するときは、VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、録音したいプリセットナンバーを選び、SET(DEMO)キーを押す

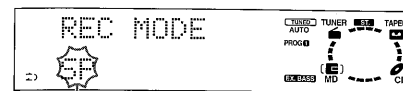
AUXを選んだときは、この操作は必要ありません。

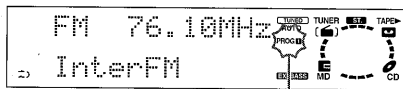
6 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、MD RECまたはTAPE RECを選び、SET/DEMOキーを押す

MD REC:MDに録音します。

TAPE REC:テープに録音します。

7 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、好みの録音モードを選び、SET(DEMO)キーを押す

REC MODE
SP

録音モード

TAPE RECを選んだときは、この操作は必要ありません。

SP ステレオ録音:MDカートリッジに表示されている時間分録音できます。

LP2 ステレオ2倍長時間録音:MDカートリッジに表示されている時間の2倍、録音できます。

LP4 ステレオ4倍長時間録音:MDカートリッジに表示されている時間の4倍、録音できます。

■ 実行する

8 リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、動作させたいプログラム番号(PROG. 1、PROG. 2)を点灯させる

FM 76.10MHz
InterFM

プログラム番号

9 POWER I/⏻キーを押して、電源を切り、スタンバイ状態にする

タイマーがセットされて、スタンバイ状態になると、STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点灯します。

プログラムタイマーが実行され、設定した時刻に録音を開始します。

プログラムタイマーを解除するには

リモコンのTIMERキーを繰り返し押して、PROG. 1、PROG. 2を消灯させます。

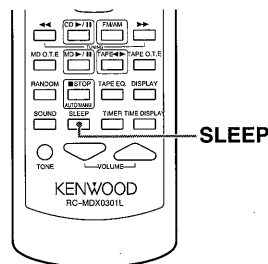
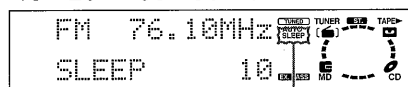
設定内容を確認したり変更するには

手順1からやり直します。

POINT

- タイマー機能を使う前に、時刻合わせを行ってください(14ページ)。
- PROG. 1とPROG. 2の働く時間帯が重ならないように、1分以上の間隔をあけて設定してください。
- タイマー録音のときは、スピーカーから音は出ません。
- AMラジオ放送をMDに録音しようとしたときにXMD RECが表示された場合には、AMアンテナ切換を**外部**に設定してください。
  内部に設定されていると、録音することができません。
- タイマーを解除しても、設定内容は記憶されています。新しく設定しない限り、以前設定したプログラムタイマーはそのまま残っています。
- STANDBY/TIMERインジケーターが緑色に点滅しているときは、設定に誤りがあります。手順1からやり直してください。

おやすみタイマーを使う(SLEEP)

設定した時間が過ぎると、自動的に本機の電源を切ることができます。10分単位で最長90分まで設定できます。

リモコンのみ

SLEEPキーを繰り返し押して、何分後に電源を切るかを選ぶ

一回押すごとに10分ずつ増えていきます。

10→20 … 80→90→OFF→10 …

SLEEPが点灯

セットした時間が過ぎると、自動的に本機の電源が切れます。

残り時間を確認する

おやすみタイマー実行中にSLEEPキーを押します。

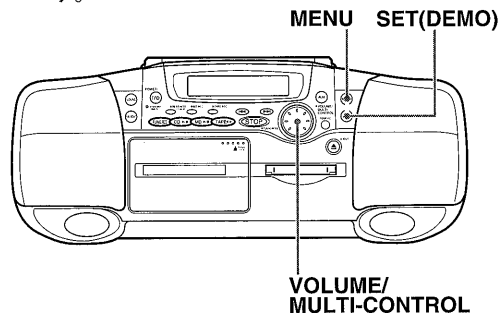
タイマーを解除する

SLEEPキーを繰り返し押して、SLEEPを消灯させます。

POINT

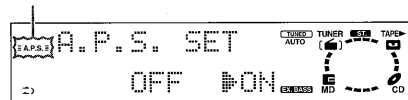
- おやすみタイマー実行中はバックライトがHに設定されていても、Lの明るさになります。

自動的に電源を切る(A.P.S. = Auto Power Save)

CDやMD、TAPEなどのすべてが停止状態の時や、入力切換がTUNERまたはAUXに設定されていて音量が0のときに、30分以上放置すると自動的に電源を切れるように設定することができます。電源の切り忘れを防止するために便利です。

1 MENUキーを押す

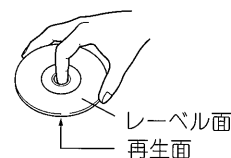
2 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、A.P.S. SET ?を選び、SET(DEMO)キーを押す

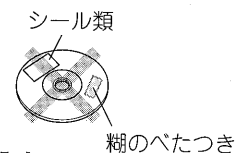
3 VOLUME/MULTI-CONTROLつまみを回して、ON(入)またはOFF(切)を選ぶ

"A.P.S."が点灯

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

移動時の注意点

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

(1) CD、MDを取り出します。
(2) **MD▶/II**キーを押す。
(3) しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

MD NO DISC

(4) **CD▶/II**キーを押す。
(5) しばらく待って、表示部が図の表示になったことを確かめてください。

CD NO DISC

(6) 数秒間待って、電源を切ります。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD(12cm、8cm)、およびCDVと CD-G/CD-EG(CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO のマークが入ったものなど IEC規格に合格したものをご使用ください。

異常なディスクは使用しない

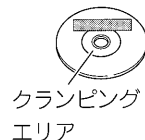
再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。

円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

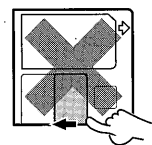
図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。

シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

MDに直接触れない

シャッターを手で開けて、MDに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ(WRITE PROTECT(ライト プロテクト))を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

MD-Clip(クリップ)データについて

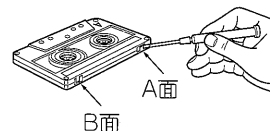
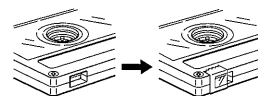
MD-Clip(クリップ)データ(静止画等)を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clip(クリップ)のデータ内容が失われることがあります。

POINT

- 録音禁止にすると、表示部にPROTECTED(プロテクテッド)と表示します。

カセットテープの取り扱いかた

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

再び録音するには

ツメを折った所だけにテープを貼る。

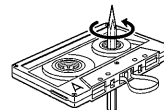
テープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。

また、磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。

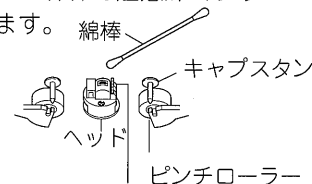
POINT

- エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

90分を越えるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

メンテナンス

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約10時間ごとに、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

(1) カセットホルダーを開けます。
(2) ヘッド、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー)で消磁してください。

POINT

- ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜く、または乾電池で使用時に乾電池を抜くと消えるメモリーの内容

ー時計表示（75分で消える）
ーMDレコーダー部（すぐに消える）

電源プラグをコンセントから抜く、または乾電池で使用時に乾電池を抜くと最低1日で消えるメモリーの内容

- **アンプ部**

ーインプットセレクター
ーボリューム値
ートーンコントロール値
ーAUXインプット値
ーマイクゲイン
ータイマーの設定内容

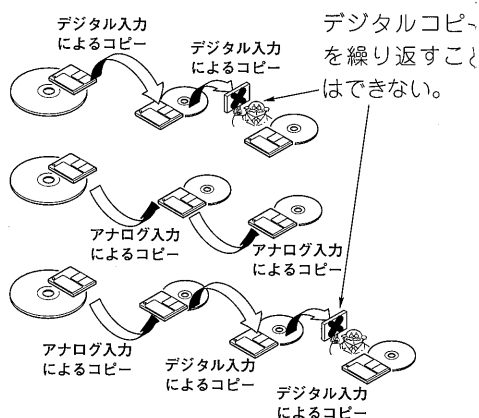
- **チューナー部**

ー受信バンド
ー周波数
ープリセット放送局
ーオート選局の設定

- **カセットデッキ**

ーテープ走行方向
ーテープイコライザー
ーリバースモード

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
東京オペラシティータワー11F
電話 (03)5353-0336(代表)
FAX. (03)5353-0337

故障かな？と思ったら

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源が入っているときに、接続コードを抜き差ししたり、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作することがあります。このようなときは、リセットしてみてください。
電源コードのプラグをコンセントから抜き、乾電池をはずして、REPEAT（リピート）キーを押しながら電源コードのプラグを差し込みます。マイコンが初期状態になり、記憶されていた内容は消去されます。

共通部

乾電池で動作しない。
➡ **AC IN（イン）～**コネクターから電源コードのプラグを抜く（12ページ）。

音が出ない。
➡ 音量を上げる（18ページ）。
➡ ヘッドホンが差し込まれているときは抜く（13ページ）。

ヘッドホンから音がでない。
➡ ヘッドホンプラグが正しく差込まれているか確認する（13ページ）。

雑音が入る。
➡ 外部アンテナを道路から離して設置する（10ページ）。
➡ 電気器具の電源を切ってみる。
➡ テレビから離す。

マイクの音が出ない。
➡ 倍速録音中は、マイクを使用することはできません。
➡ マイクが正しく差し込まれているか確認する（13ページ）。

アンプ／スピーカー部

時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。
➡ 現在時刻をもう一度合わせせる（14ページ）。

タイマーが作動しない。
➡ 現在時刻を合わせていない、または停電があった。現在時刻を合わせる（14ページ）。
➡ タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する（67～68ページ）。
➡ リモコンの**TIMER（タイマー）**キーで実行指定する（65、68、71ページ）。

放送局が受信できない。
➡ アンテナを接続する（10ページ）。
➡ 放送バンドを合わせる（24ページ）。
➡ 受信したい放送局の周波数に合わせる（25ページ）。
➡ AMアンテナ切換を**外部**にし、付属のAMループアンテナを**AM ANTENNA（アンテナ）**端子に接続する（12ページ）。

次ページに続く➡

知識編

プリセットした後、P. CALL(プリセットコール)キーを押しても放送局を受信できない。
➡受信できる周波数の放送局をプリセットする。（15～17ページ）。
➡長い間、電源コンセントまたは乾電池を抜いていたため、メモリーが消えてしまった。もう一度プリセットする（15～17ページ）。

リモコン部

リモコンで操作できない。
➡新しい乾電池に交換する（11ページ）。
➡操作する位置が遠すぎる、または障害物がある。リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作する。
➡本機が乾電池で動作しているときは、リモコンでは電源をオンすることはできません。本体のキーで電源をオンする（12ページ）。

MDレコーダー部（MD規格上の症状）

短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。
➡消去された曲の合計時間が12秒未満の場合は、記録可能時間は増えません。
➡編集を繰り返したMDの場合、残量時間が増えないことがあります。

曲をつなぐことができない。
➡編集を繰り返したMDの場合、曲がつなげないことがあります。

録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の記録時間と一致しない。
➡2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。

早送り、早戻しをすると、音が途切れる。
➡編集を繰り返したMDの場合、音が途切れることがあります。

READING(リーディング)が表示される時間が長い。
➡新品の録音用MD（全く録音されていないもの）を入れた場合、通常よりも長い間 READING(リーディング)が表示されます。

MDレコーダー部

再生キーを押しても音が出ない
➡録音済みのMDを入れる。

録音ができない
➡誤消去防止つまみを元に戻す（74ページ）。
➡入力切換を録音したいソースにする（43ページ）。
➡AMアンテナ切換を**外部**に設定する（12ページ）。

録音レベルが低い（AUX使用時）
➡外部入力レベルを調節する（37ページ）。

音がひずむ
➡録音レベルの設定をしていない（AUX使用時）。外部入力レベルを調節する（37ページ）。

CDプレーヤー部

再生キーを押しても音が出ない。
➡ディスクを正しく入れる（18ページ）。
➡***ディスク取扱上のご注意***を参照し、ディスクを清掃する（73、74ページ）。
➡***結露にご注意***を参照し、露を蒸発させる（73ページ）。

音が飛ぶ。
➡***ディスク取扱上のご注意***を参照し、ディスクを清掃する（73、74ページ）。
➡ディスクに傷がついていないか確認する。
➡振動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

再生キーを押しても音が出ない。
➡***ヘッド回りのクリーニング***を参照し、ヘッドを清掃する（75ページ）。
➡巻き取りムラがありテープが重くなっている（75ページ）。
➡録音済みテープを使う。

操作キーを押しても動かない。
➡カセットホルダーを完全に閉める（22ページ）。

カセットホルダーが開かない。
➡停止状態で押す。
➡マイコンをリセットしてください（77ページ）。

音がかすれたり高音が出なくなる。
➡***ヘッド回りのクリーニング***をみてヘッドを清掃する（75ページ）。
➡テープがのびている。

音がおかしい。
➡録音レベルの設定をしていない（AUX使用時）。外部入力レベルを調節する（37ページ）。
➡ドルビー録音されたテープを、テープイコライザーをオフで再生している。テープイコライザーをオンにする（23ページ）。

録音できない。
➡***ヘッド回りのクリーニング***をみて消磁する（75ページ）。
➡ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ（75ページ）。
➡カセットホルダーを完全に閉める（22ページ）。
➡入力切換を録音したいソースにする（45ページ）。
➡デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す（31ページ）。

メッセージ表示の一覧

表示	内容
AM TIMER REC ERROR	➡ タイマー録音でAMラジオ放送をMDに録音しようとしたとき、タイマー実行後に誤ってAMアンテナ切換を**内部**に設定してしまったため、タイマー録音することができなかった。
BLANK DISC	➡ 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	➡ 74分以内に31枚以上のCDを倍速録音しようとしている。
SCMS	➡ SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。録音できません。
CAN'T EDIT	➡ 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 録音モードが異なる曲をつなげようとしている。
UTOC ERROR	➡ UTOC* の内容が異常である。ALL ERASEを行う(63ページ)。それができないときは、MDを取り換えてください。
DISC FULL	➡ 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD NO DISC	➡ MDが入っていない。
NO TRACKS	➡ 曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。
PLAY ONLY	➡ 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。
PROTECTED	➡ MDが録音禁止されている。録音可能にする(74ページ)。
READING	➡ TOC* 情報を読み込んでいる。
TEXT FULL	➡ 1Kバイト以上のテキスト情報があるCD TEXTのテキスト情報を表示しようとしている。
FULL	➡ 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。入力できる文字数について、53ページを参照してください。
UNIT ERROR	➡ 何らかのトラブルを示します。電源をいったん切ってから、もう一度電源を入れ直してください。
WRITING	➡ 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
ガイブアンテナニキリカエテクダサイ	➡ AMアンテナ切換を**内部**に設定したまま、AMラジオ放送をMDに録音しようとしている。
X○○○○○	➡ ○○○○○の操作はできません。

* すべてのミニディスクには音声信号以外にTOC (Table of Contents)という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。
TOC 以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOCと呼びます。このUTOCには、曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。

保証とアフターサービス(よくお読みください)

保証書(別途添付)
製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は
修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットへお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間
ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。
この期間は、通商産業省の指導によるものです。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について
システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は
「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットにお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は
保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、サービススポットが修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理/持込修理
「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号(Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎている時は
保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み
(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)
- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買上げ店名

電話 (　　　　)　　　　-

定格

アンプ部

実用最大出力 .... 4W+4W(EIAJ 4Ω)

チューナー部

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz~90 MHz
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

MDレコーダー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
.... (半導体レーザー)
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 ATRAC/ATRAC3
D/Aコンバーター .... 1 Bit
ワウ・フラッター(EIAJ) .... 測定限界以下

CDプレーヤー部

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
(半導体レーザー)
D/Aコンバーター .... 1 Bit
サンプリング周波数 .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (EIAJ) .... 8 Hz~20,000 Hz
ワウ・フラッター (EIAJ) .... 測定限界以下

カセットデッキ部

トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 .... 交流バイアス
(周波数:105 kHz)
ヘッド
　録音／再生ヘッド 1
　消去用 1
モーター .... DCモーター×1
早巻き時間 約105秒 (C-60)

スピーカー部

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカーユニット .... 80 mm コーン型
+25 mm ツィータ

電源部・その他

電源電圧・電源周波数
.... AC100 V、50Hz/60 Hz
定格消費電力
(電気用品取締法に基づく表示) .... 32 W
待機時消費電力 .... 0.25 W
最大外形寸法
　幅 .... 474 mm
　高さ .... 190 mm
　奥行 .... 235 mm
質量(重量) .... 6.1 kg(正味)

使用電池 ...... 単2アルカリ乾電池(8本)／12 V
電池の持続時間(単2アルカリ乾電池8本使用時)
　音量:約30
　バックライトの設定:H
　EX. BASSの設定:オン

再生時
　CD 約4.0時間
　MD(SP) 約3.0時間
　TAPE 約4.5時間

受信時
　FM 約5.5時間

録音時
　CD → MD(SP) 約1.5時間
　CD → TAPE 約2.0時間
　TWIN(MD(SP)、TAPE) 約1.0時間
　電源コードでの駆動を推奨します。

● 周囲温度25℃にて連続使用したときの標準時間です。
● 周囲の温度、環境や使用条件により、電池の持続時間は異なります。

POINT

● これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
● 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

各部の名前

前面

❶ REPEAT(39)
❷ SOUND(36)
❸ STANDBY/TIMERインジケーター(83)
❹ POWER I/⏻ (電源)
❺ ● BEST HITS(50)
　● MD REC(43)
　● TAPE REC(45)
❻ 表示部
❼ |◀◀ ▶▶|(スキップ)
❽ VOLUME/MULTI-CONTROLつまみ(14、18)
❾ CD⏏(フタ開/閉)(18)
❿ AUX(外部入力)(37)
⓫ MENU(14)
⓬ SET(DEMO)(2、14)
⓭ REMOTE(リモコン受光部)
⓮ ⏏EJECT(取り出し)(21)
⓯ MD挿入口(20)
⓰ STOP(停止)／TUNING MODE(25)
⓱ カセットホルダー(22)
⓲ TUNER FM/AM(15)
　CD▶/❚❚(再生/一時停止)(18)
　MD▶/❚❚(再生/一時停止)(20)
　TAPE ◀▶(再生)(22)

カッコ内の数字は参照ページです。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

STANDBY/TIMERインジケーターの表示と本機の状態

インジケーターの状態	本機の状態
消灯	電源がオンのとき、または乾電池のみでスタンバイ状態になっている。
赤色の点灯	電源コードを壁のコンセントにつないでスタンバイ状態になっている。
緑色の点灯	タイマーが実行状態になっている。
緑色の点滅	● タイマー設定がエラーになっている。 ● タイマー設定されているが、時計が設定されていない。
赤色の点滅	電気系統の故障です。点検、修理を販売店または当社サービス拠点にご依頼ください。